

落數毬 紅毬多過白毬 勝負
負初決定

第二十課

驢蒙虎個皮 衆多獸恐他
無敢近他 驢自己歡喜得計
謀時時出行 以威衆多獸
一日遇着虎 虎以他作同類

驢遇虎

就與他相與行 驢極恐大
叫棄略虎個皮走 幾里路
遠不敢停

第二十一課

二個□□ 相與住池子 衆
久天無落雨 池乾去 斟酌
徒去別處 路上過一井一

二匹ノ蛙

タラ 紅毬ガ白毬ヨリ多カッタノデ 勝負ハ
始メテ決シタ

驢馬虎ニ遇フ

驢馬ガ虎ノ皮ヲ被ツテ居タ 澤山ノ獸ハ彼ヲ恐
レテ 敢テ近ツカナイ 驢馬ハ計略カ甘ク行
ツタト獨リ喜ンテ 時々出テハ澤山ノ獸ヲ威シ
タ 一日虎ニ出遇ツタラ 虎ハ彼ヲ同類タト

思ツテ 彼ト一シヨニ歩イタ 驢馬ハ非常ニ
恐レテ大聲 叫ヒナカラ 虎ノ皮ヲ棄テテ遁ケ
タ 數里ノ間休ミナシニ

二匹ノ蛙

二匹ノ蛙ガ 一シヨニ小池ニ住ンテ居タ 久
シク雨が降ラヌノデ 池が乾イテ終ツタカラ
他所ニ引越ノ相談ヲシタ 路ニ一ツノ井戸ヲ通

個^カ歡^ホ喜^キ要^ヤ跳^ト落^ロ一^一個^カ言^ク井^井個^カ
 水^水固^固然^然好^好設^設如^如有^有別^別個^カ事^シ
 不^不適^適吾^吾個^カ意^イ又^又焉^焉能^能出^出只^只
 是^是顧^顧目^目前^前不^不想^想後^後以^以禍^禍個^カ路^路

第二十二課

雨^雨

土^土面^面上^上個^カ水^水日^日頭^頭作^作曝^曝成^成汽^汽

リ過キタラ 一匹喜ンテ跳ヒ込マウトシダ
 一匹が言フニ 井ノ水ハ固ヨリ結構ダカ 若
 シ事がアツテ 吾々ノ意ニ叶ハヌ時ニ ドオ
 シテ出ルカ只目前バカリ見テ 後ノコトヲ想ハ
 ヌト禍ノ本トナルト

雨

地上ノ水ガ 日テ乾クト蒸汽ニナツテ上ル

升^升上^上積^積作^作雲^雲雲^雲遇^遇着^着冷^冷氣^氣
 結^結作^作水^水點^點滴^滴瀝^瀝無^無停^停此^此個^カ
 叫^叫作^作雨^雨不^不視^視見^見釜^釜内^内沸^沸水^水馮^馮水^水熱^熱化^化
 成^成汽^汽升^升上^上此^此個^カ是^是成^成雲^雲個^カ理^理
 由^由汽^汽冷^冷去^去即^即聚^聚作^作水^水點^點此^此
 個^カ是^是成^成雨^雨個^カ道^道理^理

ソレガ聚ツテ雲トナル 雲カ冷氣ニ遇フト
 水滴トナリ 滴々止マヌノチ 雨ト稱スル
 釜ノ中ニ湯ヲ見ナイカ 水ガ熱スレバ 蒸汽
 トナツテ昇ル コレハ雲トナル理由テ 蒸汽
 ガ冷エルト 聚ツテ水滴トナル 是レハ雨ト
 ナル道理デアル

第二十三課

墨

焚松樹桐樹個枝 以他個矣
 和以牛皮 範以模 曝得
 乾去 此個叫作墨 落水硯
 內以墨得磨 即成墨汁如以
 磨墨作艱苦 可以在暇個時
 候 豫備磨墨拾略 或有拾

墨

松ノ樹ヤ桐ノ樹ノ枝ヲ焚イテ 其油煙ヲ以テ膠
 ニ和シ 型ニ嵌メテ乾燥シ切ルト 是レチ墨
 ト言フ 硯ニ水ヲ入レテ墨ヲ以テ 磨ルト墨
 汁カテキル 若シ墨ヲ磨ルノカ 困難デアル
 ナラ 暇ノ時ニ豫シメ墨ヲ磨ツテ 收ツテ置
 クガヨイ 或ハ墨壺ノ中ニ 或ハ墨盒ノ中ニ

墨水壺内 或有拾墨盒内
 作用尤更方便

第二十四課

紙

古個時候不有紙 以漆寫竹
 片上 或有寫絹布上個 竹
 片繁 絹布貴 得書極艱
 難 漢朝姓蔡名倫 初々作

紙

昔紙が無カツタトキハ 漆ヲ以テ竹篔ニ書イタ
 リ絹布ニ書イタリシダガ 竹篔ハ手數ダシ
 絹ハ高價デアルカラ 書ヲ得ルコト困難デアツ
 タ 漢時代ノ蔡倫ト云フ人 始メチ紙ヲ作ツ

紙カク至カウ現シ在ナ稱シ方フ便ビ 總トシ是シ樹シ皮イ

稻コ藁カ與カ破フ布ボ個カ類ル 總トシ可コ以イ作ト

得リ紙カク 時チ常チ用アン個カ 以イ竹リ作ト個カ

多ト 故コ事シ生シ竹リ最ト多ト 個カ地リ方フ出ス

紙カク亦オ最ト多ト

第二十五課

叢樹

打テ大ロ風ホ後ク 兄ケ弟ニ行キ在ル城ヲ外ニ

見ミ路ロ邊ヘ個カ老ラ樹シ 高コ幾ク十ト尺シ

風ホ拔ン起キ 臥ア在ル地ノ面ノ上ニ 又マ行キ

幾ク步ボ 過コ樹シ林リ 損ツ傷マ極ク少ク

小ト樹シ幾ク株ク 亦オ無ク傷マ略ロ 老ラ弟ニ

問イ兄ケ言ハ 風ホ能ク拔ベ大ロ樹シ 不ボ能ク

拔ベ樹シ子ク 作ト麼ミ個カ啊ア 兄ケ言ハ大ロ

樹シ單ダ株ク 故コ事シ容シ易ク拔ベ 樹シ子ク

タノガ 今モ便利トサレテ居ル 總テ樹皮

藁、襪襪ノ類 皆紙ヲ作ルコトガデキル 平

素用キテ居ルノハ 竹テ作ツタノカ多イカラ

竹ノ多クテキル地方ニハ紙ノ出ルコトモ最多

イ

樹林

大風ガ吹イタ後テ 兄弟ガ城外ヲ歩ルイタニ

路傍ノ老木ノ高サ數十尺ノガ 風ニ引拔カレ

テ 地上ニ倒レテ居タノヲ見タ 又數步行ツ

テ 林子過キタラ損害ガ極少ナイ 小樹數株

モ無事テアル 弟ガ兄ニ尋ネタ 風ハ大木ヲ

抜イテ 小サナ木ヲ拔クナイノハドオ云フワケ

カト 兄ガ言フ大木ハ單獨ガカラ拔キ易イガ

小木ハ澤山生エテ居ルカラ 倒シ難イノデア

生多株 故事難打敗

第二十六課

麻

麻樹個身 高六七尺

葉大花小 春天種夏天割

剝麻樹個皮 浸在水內衆久

更析作細縷 可以織布粗個

或有作網 或有作成繩

ルト

麻

麻ノ幹ハ中ガ空テ 高サハ六七尺 葉ハ大キ

ク花ハ小サイ 春植エテ夏刈リ取リ 皮ヲ剝

イテ水ニ久シク浸シ 更ニ細カク割イテ布ヲ織

ル 粗イノハ網ヲスイタリ 繩ヲ作ツタリス

ル用途ハ甚廣イ

作用極廣

第二十七課

漆

漆樹生在山谷内 大個二三

丈高 夏秋二期 時候割

他個皮 接以竹單 有汗流

出 這個叫作漆 以聚器物

可以免得汚穢與 如以

漆

漆ノ樹ハ谷間ニ生ヘル 大キイノハ高二三丈ア

ル 夏秋二期 其皮ヲ割イテ 竹ノ管ヲ嵌

メテ汁ヲ流出サセル 是ガ漆ト言フ 器物ニ

塗ルト 汚レタリ腐レタリセヌ 若シ彩モノ

ヲ漆ニ混セテ後 ソレヲ塗ルト 一層美シ

水調在漆内 後來聚他尤更

第二十八課

錢

古時候個生意 以有個性不
個至後世交易 日日多
即以金類鑄錢 專作交易個
周朝以後 初々定錢作

錢

昔ノ商賣ハ 有ル物ヲ以テ無イ物ニ易ヘタ
後世ニ至ツテ 貿易日ニ増シ盛ニナルト 金
屬テ錢ヲ鑄テ 貿易用ニシタ 周代以後始メ
テ一定ノ圓イ中ニ 孔ノアル錢ヲ作ツタ 近

圓形 有孔 近年改過
作錢個制度 圓不孔 以銅
作個叫作 以銀作個叫作
銀幣 大小輕重 各有一定個
數人總方便

第二十九課

收條

親戚送麼來 父寫一張收條

領收書

親類カラ物ヲ送ツテ來タ 父ガ一枚ノ領收書ヲ

書イテ彼ニ渡シタ 小兒ガ父ニ尋ネタ 是レ

ハ何ニスルノカト 父ガ言フニ 是レ領收書

デアル 自分ガ物ヲ人ニヤルト 人ガ領收書

ヲ書イテ自分ニ呉レル 人ガ物ヲ自分ニ呉レル

ト 私ハ領收書ヲ書イテ人ニヤル ソシテ證

據トスル

(收條)

給去他 小子問父言 是有
 個麼用 父言 此個是收條
 吾以麼給去人 人即寫收條
 給去吾人 以麼給去吾 吾
 即寫收條給去人 以作憑證

今收到鈔票五元正 此復
 彦昇仁兄台鑒 弟蕭維祺收條
 回呈 即刻

盧先生

第三十課

假書

書籍借用

姓嵇學生歡喜讀書不能買
 書冊 常借他個朋友 他借

姓、嵇學生ハ讀書ガ好キデアツダガ 買フコト

ガテキモノデ 常ニ彼ノ朋友カラ借りダ 彼

書冊 必^{ビツ}定^{テイ}預^{ゾク}備^ビ言^{コト}還^ホ個^コ時^{トキ}
 期^キ 既^キ然^{ゼン}借^カ 必^{ビツ}定^{テイ}小^コ心^{シン}披^ヒ視^シ
 不^ボ使^{タイ}汚^カ穢^{トク}敗^{バイ} 至^{カウ}時^{トキ}期^キ必^{ビツ}定^{テイ} ^{キツ}
 還^ホ他^タ 或^{シヤ}有^ウ未^ボ視^シ了^{リヤク}個^コ 俟^{ダン}
 至^{カウ}別^{バツ}日^{ジツ}又^ユ更^コ借^カ 如^シ是^{テイ}錯^{ソク}誤^ゴ作^サ
 敗^{バイ}去^ク 人^{ナン}個^コ書^{ショ}冊^セ 即^{チウ}買^{バイ}新^{シン}書^{ショ}
 以^イ還^ホ他^タ 以^イ這^{チツ} 樣^{ヤウ}與^{カン}人^{ナン}借^カ書^{ショ}
 冊^セ 無^ボ有^ウ不^ボ肯^{ケン}個^コ 故^コ事^シ稽^キ學^{ガク}

ガ 書物ヲ借リルヤ 必ス前以テ返ス時ヲ言
 ツテ置ク 借リタラ 必ス注意シテ開イテ見
 ル 汚シタリ破ツタリシナイ 時期カ來レバ
 吃ト整理シテ返ス 未タ讀ミ終ラヌノハ 他
 日ヲ俟ツテ又更ニ借リル 若シ誤テ人ノ書物ヲ
 破ツタラ 新タニ買ツテ返ス 人ノ書物ヲ借
 リルニ コンナ風ダカラ 應ゼナイ人ハナイ

生^{テニ}家^カ內^{ナイ} 只^チ是^{テイ}四^シ過^コ土^ツ牆^{キヤウ}一^{イツ}定^{テイ}
 至^{カウ}尾^ビ識^{シキ}衆^{シュウ}多^タ書^{ショ} 有^ウ名^{メイ}他^タ當^{ダン}
 時^{トキ}

ガ稽學生ノ家ハ 只四面壁ガアルダケデアツタ
 (貧乏デアツタ)ケレド 後ニナルト博學テ
 當時有名デアツタ

第三十一課 我國革命

國^{クニ}家^カ政^{セイ}治^チ 逆^{ギャク}人^{ニン}民^{ミン}個^コ意^イ人^{ニン}民^{ミン}
 勢^{セイ}所^{ショ}必^{ビツ}作^サ個^コ 以^イ力^{リキ}打^{ウチ} 政^{セイ}府^フ

我國ノ革命
 國家ノ政治ハ 民意ニ逆フト 人民ハ止ムヲ
 得サル所爲トシテ 政府ヲ顛覆スル 是レナ

這、個、叫、作、革、命、

前、清、朝、尾、政、治、亂、雜、國、勢、

難、視、敗、悶、國、家、個、謀、想、改、

革、政、治、以、救、亡、是、革、命、個、話、

日、日、多、

辛、亥、年、個、秋、革、命、軍、起、在、武、

昌、各、省、相、應、清、帝、退、位、即、

成、立、中、華、民、國、

革命ト言フ

前清朝末 政治亂レ國家危キニ類ス 憂國ノ

士 政治ヲ改革シテ 國家ノ急ヲ救ハント謀

レリ 是レヨリ革命ノ説カ 日ニ増シ盛ニナ

ツタ

辛亥ノ秋 武昌ニ革命軍起リ 各省相應シタ

ノテ 清帝ハ位ヲ退イテ 中華民國ガ成立

第三十二課

地圖

土、牆、上、吊、一、幅、地、圖、學、生、問、

先、生、言、此、個、作、麼、個、圖、先、

生、言、此、個、即、是、中、華、民、國、地、

圖、你、人、試、觀、視、他、北、京、作、

京、城、中、央、政、府、設、立、在、此、

シタ

地圖

壁ニ一幅ノ地圖ガ掛ケテアル 學生ガ先生ニ是

レハ何ノ圖デアアルカト尋ネタ 先生ガ言フニ

是レ即チ中華民國ノ地圖デアアル 汝等ソレヲ見

ヨ 北京ガ國都デアツテ 中央政府ハ此處ニ

設立サレテアル 其他ドンナノガ山デア

處 剩個作個麼叫作山作

個麼叫作水作個麼叫作城

市 學習熟他

第三十三課 廣州

廣州是廣東省城後頭有山

面前有海珠江橫貫過

他個支流密如個網

水利富足故事土地多肥

運貨簡便速故事作工個作

生意個尤更發達廣州城

個富即全國

粵漢廣九兩條鐵路自廣州

城作起交通尤更便利

香港是廣州個地英國人作

ナノガ水 ドンナノガ市街デアルカチ 學

テ熟知セネバナラヌ

廣州

廣州ハ廣東省城デアアル 後ニ山アリ前ニ海アリ

珠江ハ横貫シ 其支流ハ蜘蛛ノ網ノ如ク繁ク

水利ノ便十分ダカラ 土地肥沃、運送簡便ニシ

テ速カナルガ故ニ 工業、商業、最モ發達セリ

廣州ノ富ハ全國ニ冠タリ

粵漢廣九兩鐵道ハ 廣州城ヲ起點トシ 交通

一層便利デアル

香港ハ廣州ノ地デアアルガ 英國人が占領シテ港

占據 築作港口作生意 海
 內個船極多 買賣極鬧熱
 即勿然鬧熱過省城

第三十四課

造屋

造屋個法 床脚應當高
 所以去濕 水溝應當廣所
 以流臭鬼汚穢塵 窓門應當

建築

灣ヲ築キ 市ヲ開キタレバ 海ノ船舶甚多ク
 商業極メテ繁昌シ 俄然、殷賑、省城ヲ凌クニ
 至レリ
 家ヲ建テル方法、基礎ヲ高クセヨ 濕ケヌ様ニ
 溝ヲ廣クセヨ 汚物ガ流レル様ニ 窓ト出入
 口ヲ多クセヨ 風ヲ通シ光線カ透ル様ニ 炊

多 所以通氣見光 灶前與
 恭房 應當隔遠 不是此様
 即不合衛生 人住在此內
 必定多病

第三十五課

蜜蜂

庭內個花開多 蜜蜂來去
 花枝個處 吸花個甜汁 作

蜜蜂

事場ト便所ヲ遠ク隔テヨ 此様ニシナケレバ
 衛生ニ適シナイカラ 人が其内ニ住メハ必ス病
 氣が多イ
 庭ノ花ガ澤山開イタノデ 蜜蜂ガ花ノ間ヲ往來
 シテ 花ノ蜜ヲ吸ヒ 巢ノ中テ蜜ヲ作リ

蜜^{ミツ}在^ル蜂^{ハチ}房^バ以^テ作^ル冬^{フユ}天^ノ個^ノ糧^ヲ□^ク
 他^タ個^ノ房^バ以^テ土^ノ與^ヒ膜^ヲ作^ル蜂^{ハチ}巢^ノ個^ノ
 土^{ツチ}牆^ヲ連^リ相^ヲ與^ヒ如^ク毬^ノ秋^ノ天^ノ個^ノ
 時^{トキ}候^ノ割^リ他^ノ個^ノ房^バ以^テ蜂^{ハチ}蜜^ヲ可^ク
 以^テ調^ヒ味^ヲ可^ク以^テ作^ル藥^ヲ故^ノ事^ヲ飼^フ
 蜂^{ハチ}個^ノ利^ヲ息^ヲ極^メ多^ク
 第三十六課 殺^ス雁^{ガシ}

第三十六課

殺雁

莊^{シヤウ}子^シ出^ス去^ク山^ノ寄^ギ宿^ノ在^ル故^ノ朋^{トモ}友^ヲ
 個^ノ家^ノ故^ノ朋^{トモ}友^ヲ歡^ム喜^ブ叫^ビ僕^ノ害^ヲ
 雁^{ガシ}鳥^ノ烹^フ僕^ノ問^フ他^ノ言^ヲ一^ツ個^ノ能^ク
 叫^ビ一^ツ個^ノ不^レ能^ク叫^ビ害^ヲ□^ク□^ク個^ノ
 主^{ヌシ}人^ノ言^フ害^ヲ不^レ能^ク叫^ビ個^ノ噫^ヒ雁^{ガシ}
 鳥^{トリ}以^テ不^レ才^ナ能^ク即^チ害^ヲ過^ス先^ニ人^ヲ
 可^ク不^レ自^ラ己^ノ做^ル戒^ヲ嗎^{ナラ}

冬、糧食トスル 彼ノ房ハ土ト膜ヲ集メノ壁トシ
 相連ホテ毬ノ如クスル 秋ノ頃 其房ヲ割イ
 テ蜂蜜ヲ取ルト 調理ニヨシ藥ニモ使フカラ
 蜂ヲ飼フ利益ハ甚多イ

雁ヲ殺ス

莊子家ヲ出テ 舊友ノ家ニ寄宿ス 舊友喜ン
 テ 下僕ニ命シ雁ヲ殺シテ料理セシム 下僕
 彼ニ尋ネテ曰ク 一ツハ能ク鳴キ 一ツハ鳴
 カヌ 何レヲ殺スベキカ 主人曰ク鳴カヌノ
 ナ殺セト 噫雁モ才能ナキハ 先ニ殺サレル
 人モ自カラ戒メネバナラヌ

第三十七課

跳繩

姓^{アエ} 范^{ファン} 學^{ガク} 生^{シヤウ} 以^イ 一^{イツ} 條^{テウ} 繩^{ジヤウ} 握^ク 兩^{リヤウ} 頭^{トウ}
 尾^ビ 向^{キヤウ} 上^{シヤウ} 擲^{ヂツ} 他^タ 繩^{ジヤウ} 自^ジ 頭^{トウ} 處^{ヂョ} 頂^{テイ}
 過^カ 要^{ヤウ} 至^シ 土^ツ 跳^{テウ} 過^カ 一^{イツ} 擲^{ヂツ} 一^{イツ}
 跳^{テウ} 來^{ライ} 跳^{テウ} 去^{キョ} 不^フ 停^{テイ} 既^キ 然^{ゼン}
 了^{リヤウ} 又^ウ 擇^{タク} 二^ニ 人^{ジン} 分^{ブン} 立^{リツ} 二^ニ 傍^{ボウ} 持^チ
 長^{チヤウ} 繩^{ジヤウ} 擲^{ヂツ} 繩^{ジヤウ} 至^シ 土^ツ 一^{イツ} 個^コ 人^{ジン} 即^{キツ}

繩跳

姓、范學生一條ノ繩ヲ以テ 兩端ヲ握リソレヲ
 上ニ向ツテ投ゲルト 繩ハ頭ノ上ヲ超エ 地
 ニ著カウトスル時ニ跳ビ超エル 一振り毎ニ跳
 ビ超エル 跳去リ跳來リテ盡キヌ ソレガ終
 ルト 又二人ヲ擇ビ兩側ニ立テ 長イ繩ヲ持
 テ振ル 繩ガ地ニ達スルト 一人ガ跳込ム

跳^{テウ} 落^{ラク} 漸^{シヤン} 多^タ 至^シ 三^{サン} 四^シ 人^{ジン} 相^{シヤウ} 與^ユ
 跳^{テウ} 相^{シヤウ} 與^ユ 停^{テイ} 足^{ソク} 不^フ 蹴^{キョク} 咯^カ 繩^{ジヤウ} 至^シ
 幾^キ 十^{ジュウ} 回^{クワイ} 初^{シュ} 畢^ヒ

第三十八課

秤

稱^{シヤウ} 所^{ショ} 以^イ 稱^{シヤウ} 麼^マ 分^{ブン} 別^{ベツ} 輕^{キヤウ} 重^{チュウ} 個^コ
 算^{サン} 重^{チュウ} 個^コ 法^{ホフ} 十^{ジュウ} 釐^{リン} 作^{サク} 一^{イツ} 分^{ブン}
 十^{ジュウ} 分^{ブン} 作^{サク} 一^{イツ} 錢^{セン} 十^{ジュウ} 錢^{セン} 作^{サク} 一^{イツ} 兩^{リヤウ}

段々増シテ三四人ニナルト 一シヨニ跳ビ一シ
 ヨニ止メルガ 足ガ繩ヲ蹴ラヌ 數十回ニシ
 テ始メテ止メル

秤

秤ハ物ヲ秤リテ 輕重ヲ分ツモノデアル 重
 サナ計ル方法ハ 十釐ヲ一分トシ 十分ヲ一
 錢トシ 十錢ヲ一兩トス 十六兩ヲ一斤トシ

十六兩ト作ト一斤キ 一イ百ヘ斤キ作ト一ト擔キ 稱シ杠シ有カ星セ 大ロ個カ每モ一イ個カ 星セ作ト一ト斤キ 第ド二ニ個カ 每モ一イ個カ 星セ作ト一ト兩リ小ト個カ 或シ有カ以イ錢チ算ソ 或シ有カ以イ釐リ算ソ 總ト視オ見キ稱シ杠シ大ロ 小ト稱シ一ト個カ輕キ重ダ 孔コ子シ

第三十九課

孔子

百斤チ一擔トス 秤ニハ目ガアツテ 大キイ
ノハ 星一ツ每ニ一斤トシ 次キハ一ツノ星
每ニ一兩トス 小サナノハ一錢ニ算ヘルモアリ
釐ニ算ヘルモアル 總テ秤ノ棒ノ大小ニヨリテ
分銅ニ輕重ガアル

孔子

孔コ子シ 字ナ名ナ仲ニ尼ト 識シ學ブ
問マ麼シ略ロ能カ 教カ人ナ不ボ倦ラ 有カ學ブ
生ア三タ千サ人ナ 時チ世セ亂ル 孔コ子シ作ト
魯ル國ク個カ相テ爺セ 三タ月ゲ即チ大ト太ヘ平フ
魯ル國ク個カ皇ホ帝リ 不ボ能ク信シ用ス 孔コ
子シ不ボ作ト魯ル國ク個カ官カ 巡ツ遊ウ衆ホ多ト
國ク 總ト是シ十タ四シ年ヘ 不ボ得ル行ク

孔子 字名ヲ仲尼ト言フ 總テノ學問ニ通シ

人ヲ教ヘテ倦マナイ 三千人ノ弟子アリ 世

ガ亂レタトキ 孔子魯國ノ宰相トナル 三月

ニシハ太平ナリ 魯國皇帝 孔子ヲ信セズ

孔子魯國ノ官ヲ辭シ 多クノ國ヲ巡遊スルコト

總テ十四年間 彼レノ志ヲ行フヲ得ス ソコ

テ魯國ニ歸リテ 書ヲ著シ以テ後世ノ人ニ教ユ

今ニ至ツテ聖人トナス

他個道即回魯國作書以教
後世個人至現在叫作聖人

第四十課

孟子

孟子

孟子山東鄒縣人曾子思ノ門弟トナル

孟子ハ山東鄒縣ノ人 曾子思ノ門弟トナル

思個學生故事學問孔子一

故ニ學問ハ孔子ト同様デアル 此時ニ當テ天下

樣當此個時候天下分作

分レテ七國トナル 競争ヲ事トシ 相征伐ス

七國競争個事大打小人

人民困苦ス 孟子ハ人民ヲ愛スルヲ本トス

民困苦孟子以愛人民爲

仁義道德ヲ説キ兵ヲ休ム 諸侯孟子ノ道ヲ用キ

本講仁義道德不打諸

ス 孟子ハ其門弟ト共ニ退イテ 書ヲ著ハシ

候不能用孟子個道退咧與

説ヲ立ツ 其世ニ傳フルモノ 孟子七篇アリ

他個學生作書言好惡人個

孟子

話他傳在世間個有孟子

孟子

七篇

第四十一課

孟子

孟子

孟子少時候讀書他個母適

々織布忽然至□□停止

母持刀割斷這多布做

戒他言你無讀書尤如我

割斷這多布一樣自現在

後孟子即力□讀書孟子

視見東邊個家害豚問母

言東邊個家害豚作麼個

啊母言欲食你

怨錯言孟子初有知識誑他

以此□樣教他不信個即買

東邊個家豚肉以他食

第四十二課

貓鷹

貓鷹是愛食鳥子嘴曲如鈎

孟子が小サイ時 讀書ヲシテ居タ 丁度彼ノ

母ハ布ヲ織リテイタラ 突然半バニ止メテ來タ

母ハ刀ヲ持テ其布ヲ切斷シテ 彼ヲ警シメテ言

フニ 汝ガ學問ヲ止メルノハ 私ガ此布ヲ切

斷スルノト同様デアルト 其後ハ孟子ハ懸命ニ

勉學シタ 孟子ハ東隣ノ家テ 豚ヲ殺スノヲ

見テ 母ニ東ノ家デハ豚ヲ殺シテ 何ニスル

ノカト尋ネタ 母ハ汝ニ食ベサセルノデアルト

言フタ 暫クシテ後悔シテ言ツタ 孟子知識

ノツキ始メニ 誑スノハ 彼ヲ教ヘル道テナ

イト ソコテ東隣家ノ 豚肉ヲ買ツテ食ベサ

セタ

鷹

鷹ハ小鳥ヲ好ミ食フ 嘴ハ曲カツテ鈎ノ如ク

爪ハ銳利テ刀ノ如ク 翼ハ非常ニ力が強ク
 飛衆久不倦 目光極利 離土
 幾十丈 能見小々個 摩常
 々々飛巡在空中 個處 滴意視
 地上以覓食 雞子個類 設
 如爲他視見 即攫他得去
 他飛得極速 人毎回不防備

爪ハ銳利テ刀ノ如ク 翼ハ非常ニ力が強ク
 長ク飛ンデモ疲レヌ 眼ハ光ツテ銳ドク 地
 チ離ルル數十丈ニアツテ 小サイモノが見エル
 カラ イツモ空中チ飛ビ廻ツテ 地上ニ注意
 シテ食チ探ス 鷄ノ子ノ類ガ若シ彼ニ見付カツ
 タラ 攫ツテ行ツテシマウ 彼ノ飛ブノハ速
 クテ 人ハイツモ防キ得タコトハナイ

得至

第四十三課

□鳥

槐樹上有一個鳥巢 老鳥
 住在巢內 不飛得高 □頭
 遠視 鳴鳴 叫□鳥子常々
 出去覓食 有所得 落即咬回
 巢以哺老鳥 先生言去

槐樹ノ上ニ鳥ノ巢ガ一ツアル 巢ノ中ニ老鳥カ
 住ンデ居テ 高ク飛ベナイノデ 頸チ伸バシ
 テアアト鳴ク 子鳥ハイツモ出テ行テ 食物
 チ探シ得タラ 咬ヘテ巢ニ歸リ 老鳥ニ食ベ
 サセル 先生ガ學生ニ言フ 鳥ハ鳥類デアアル

學生言 鳥作鳥類 尙知

愛情父母 爲人子個 可不

孝敬 飼父母嗎

第四十四課

猴

猴 形如人 性極 能識

人個意 全身生毛 又有尾

脚指極長 常攀樹枝 咧上

覓果子得食

山猩亦是猴 個類 身體高

大有毛無尾 性暴力大 常

々々害人

第四十五課

電

姓祝小子 與 父立 在橫廊

下 忽然視見影陰四邊 大

尙父母ヲ愛スルヲ知ル 人ノ子タル者ハ

孝行ヲシテ父母ヲ養ハネバナラヌト

猿

猿ハ人ニ似テ居ル 性質敏捷テ 人ノ意ヲ解

スル 全身毛が生エテ尻尾ガアル 足ノ指ガ

非常ニ長イ 常ニ木ノ枝ニ攀チテ上ニ登リ

果物ヲ取テ食フ

猩々モ亦猿ノ類テ 身體高ク大キイ 毛ハアルガ

尻尾ガナイ 性粗暴テ力ガ強ク 常ニ人ヲ害

スル

電

姓祝小子ガ父ト 廊下ニ立ツテ居ルト 突然

四邊ガ暗クナツテ 大風ガ吹イテ來テ 空カ

風至 ホアンカウ 天 ヒイ □ ダ □ オ 冰塊 ベジコイ 落略 ラハ 土 ハ
 響 ヘアン 小子 コエ 大驚 オホキア □ モ 父言 ペコ 此 チ
 個名 カミ 叫作 キョウサ 電 デン 空中 クウチュウ 個水 カクスイ 汽 キ
 要成 グエチア 雨點 ウツリテム 忽 フツ 然 ゼン 高處 コウコ 冷風 レイフ 吹 フク
 一 シ 回 ヘ 結成 キツチア 冰塊 ベジコイ 亂 ルイ 雜 サツ 落 ラ 來 ライ
 害田 ガイサン 稻 リウ 傷人 チアンナン 與 カン 六畜 ロクシュ 傷 チアン 草 サウ 室 シツ
 屢 チアウチアウチア 々 チアウチアウチア 成 ロ 大 ロ 災 サイ

ラ冰塊ガ降ツテ地ニ響イタノデ 小兒ハ驚イタ
 父ガ言ツタ 是レハ電ト言フモノデ 空中ノ
 水蒸汽ガ雨ニ成ロオトシテ 突然高イ處ノ冷イ
 風ガ吹イテ 一時ニ冰塊トナツテ落チテ來ル
 稻チ害シ 人ヤ畜類チ傷ケ 草家チ傷ケ
 屢々大災チナスノデアアル

第四十六課

草帽

天氣 ヒイ 燒 クイ 暖 ヲイ 調和 メン 個 ヘ 時 カ 候 イ 應 ニ 當 ダン
 履 リ 草 サウ 帽 マウ 前 タイ 日 ジツ 所 ト 用 ズ 個 カ 多 ト 自 ジ
 外 ホ 國 コ 買 ボ 來 ライ 敗 バイ 錢 チ 極 キョク 大 ロ 我 ワ 國 コ
 山 ト 東 ダン 諸 チアン 省 シツ 原 ゲン 來 ライ 有 ウ 草 サウ 纒 ビ 可 コ
 以 シ 作 ト 草 サウ 帽 マウ 個 カ 材 サイ 料 リョウ 現 ゲン 在 チ 個 カ 人 ナン
 連 リン 立 リ 公 コ 司 シ 作 ト 工 カン 廠 シヤン 自 ジ 己 キ 製 チ 造 ゾウ

麥稈

氣候ガ溫暖デ 好イ時分ハ麥稈チ冠ル 以
 前用キタノハ 外國カラ買ツテ來タノデ 消
 費額ガ莫大デアツタ 我國ノ山東諸省ハ 元
 來麥稈ガアルカラ 麥稈ノ材料ニヨイ 今日
 デハ續々會社ガ出來テ 工場チ設ケ自カラ製造
 シ 果シテ良品ガ出來タカラ 必ス各省ニ賣

果^ミ然^シ能^ク出^ス貨^ホ極^キ好^ク必^ズ定^ル好^ク賣^ル
去^ク各^ク省^ク

第四十七課

西瓜

西^{サイ}瓜^カ是^シ春^ス天^{テン}種^シ
花^ホ是^シ黃^{ワウ}色^{シク}瓜^カ是^シ形^シ圓^{エン}熟^{ジュク}個^コ
時^ジ候^{コウ}大^{ダイ}個^コ可^カ有^ウ十^{ジュウ}餘^{ジョ}斤^{シン}重^{ジュウ}
極^{キョク}暑^{ショ}個^コ日^{ジツ}割^カ食^{シク}他^{タイ}個^コ肉^{ニク}

行キが好イニ違ヒナイ

第四十八課

警戒吸煙

他^{タイ}可^カ以^イ去^ク殼^{カク}得^{トク}食^{シク}他^{タイ}個^コ仁^ニ
汁^{ジツ}多^タ味^ミ甜^{テン}瓜^カ内^{ナイ}有^ウ子^シ炒^{チヤウ}熟^{ジュク}
姓^{セイ}潘^{パン}小^{コウ}子^シ弄^{ナム}食^{シク}煙^{エン}歡^{カン}喜^キ極^{キョク}
相^{サイ}參^{サム}母^ボ見^{ケン}奇^キ怪^{クワイ}問^{モン}他^{タイ}小^{コウ}
口^{コウ}喘^{チワン}不^フ畢^ヒ落^{ラク}鼻^ビ落^{ラク}目^{モク}汁^{ジツ}
子^シ以^イ告^{カク}着^{シヤク}母^ボ言^{ゴン}食^{シク}煙^{エン}無^ム益^{イク}

テ ソレチ炒ツテ殼ヲ去ツテ ソノ仁チ食フ
コトが出来ル

喫煙ヲ戒シム

姓、潘小兒が 戯レニ煙草チ喫ンテ非常ニ喜ン

テ居タラ 暫クスルト咳が出テ止マナイ 鼻

汁ト涙が一シヨニ出タ 母が見テ怪ンテ聞イタ

小兒ハ事情ヲ告ゲタ 母が言フニハ煙草チ喫ム

又^{シウ}有^ウ毒^{ドク} 他^イ氣^キ觸^ツ喉^カ 即^チ使^シ哮^カ
 喘^{チウ}無^ム是^シ可^ク以^イ弄^リ得^ト個^カ 小^コ子^シ
 尤^ユ更^コ應^{オウ}當^{トウ}警^{ケイ}戒^{カイ}

第四十九課

自治

姓^{テイ}于^ユ學^{ガク}生^{シユ} 性^{テイ}質^{シツ}惰^{ロウ}懶^{ライ}書^{シヤウ}籍^{セキ}紙^シ
 筆^{ヒツ}隨^{ズイ}意^イ拋^{トウ}散^{サン} 他^イ個^カ朋^{ホウ}友^{ユウ}姓^{テイ}
 陸^{リク}學^{ガク}生^{シユ} 即^チ不^フ是^シ此^{コノ}樣^{ヤウ} 視^シ書^{シヤウ}
 自^チ治^チ

ノハ有害無益デ 煙リガ喉ニ觸レルト咳チスル
 オモチヤニスルモノデハナイ 殊ニ小兒ハ謹マ
 ネハナラヌト

自治

姓、于學生ハ姓懶惰デ書物ヤ紙筆ヲ打散ラカシテ
 アル 彼ノ友人陸學生ハ左様デナイ 書物ヲ
 視テシマツタラ 必ス元ノ處ニ收ツテ置ク

既^キ然^{ゼン}了^{リョウ} 必^{ヒツ}定^{テイ}收^{シユ}拾^{シヤウ}放^{パン}在^ル原^{ゲン}處^{ヂョ}
 寫^{シヤウ}字^ジ個^カ時^ジ候^{カウ} 紙^シ墨^{ボク}筆^{ヒツ}硯^{イン} 排^{バイ}
 列^{リツ}有^ウ口^{コウ}序^シ 噴^{フン}唾^{ツエ}必^{ヒツ}定^{テイ}向^{キョウ}痰^{タン}盂^ユ
 先^{セン}生^{シユ}言^{ゴン}去^ク姓^{テイ}于^ユ學^{ガク}生^{シユ}言^{ゴン} 如^ニ姓^{テイ}
 陸^{リク}學^{ガク}生^{シユ}個^カ 可^ク以^イ叫^{キョウ}作^{サク} 能^ネ自^チ
 治^チ理^リ略^{ロク}

第五十課

告暇

字ヲ書ク時ニハ 紙、墨、筆、硯、順序ヨク列
 ベ 唾ヲ吐クニハ必ズ痰壺ニ向テ吐ク 先生
 ガ于學生ニ言フニハ 陸學生ノ様ナノチ 自
 治ヲ能クスルモノト 言フベキデアルト

請暇

姓 邵 學 生 日 々 至 學 堂 未 曾

稍 遲 回 先 生 屢 々 贊 他 好

有 一 日 要 上 堂 邵 學 生 不

至 適 々 有 持 信 來 開 信 視

即 邵 學 生 個 請 告 暇 個 信

姓、邵學生日々學校ニ行クニ 未タ曾テ遅刻シ

タコトガナイ 先生ハ屢々彼ヲ褒メテ居タ

一日學校ニ行クト 邵學生ガ來ヌ 丁度手紙

ヲ持テ來タノテ 手紙ヲ開イテ見ルト 邵學

生ノ缺席届デアツタ

第六册

第一課

人 之 一 生

人ノ一生

人 個 一 世 尤 如 一 年 個 四 季

人ノ一世ハ猶ホ一年間ノ四季ノ如シ 春風至リ

嗎 春 天 吹 風 燒 暖 調 和 草

溫暖調和シテ 草木初メテ芽ヲ生スルコト 怡

與 樹 木 初 生 如 一 個 小 子 個

モ小兒ノ發育スルニ似タリ 夏ハ時々雨降りテ

活 育 夏 天 雨 時 々 下 草 與

草木自カラ繁茂スルコト 壯丁ノ發達スルガ如

樹 木 自 茂 盛 如 一 個 壯 丁

シ 秋ヨリ冬段々寒クシテ 草木落葉スレ

發達 秋天與冬天漸々寒

草與樹木落葉 即由壯丁至

老由老至死 冬天了春天至

相環不畢 人即老個 不可

轉得壯丁 壯丁個 不可轉

得小年

論語言「時乎時乎 不再來」

壯年ヨリ老年ニ至リ 老ヨリ死ニ至ルナリ

冬終リテ春至リ 循環シテ止マヌガ 人ハ老

者ハ再ビ壯者ニ歸ルベカラズ 壯者ハ少年ニ歸

ルベカラズ

論語ニ曰ク「時乎時乎不再來」ト願クハ我少年ヨ

願我少年一切記着

第二課 微生物

微生物個形體至小 種類極

多 他有毒個能使人病 或

有作成瘧疫個 只是目力所

能視見得個 故事人人多忽

他 空氣內 隨處有細小個

ク記憶セヨ

微 菌

微菌ノ形體ハ非常ニ小サク 種類ハ極メテ多イ

彼ハ有毒物デアツテ 人チシテ病氣セシメル

疫病ニナルノモアル 而ノミナラズ肉眼デハ

見エナイカラ 人々ハ多クハ ソレチ忽セニ

スル 空氣中ニハ至ル處微菌ガ居ル 溝ノ水

蟲以溝個水汚穢臭個麼

所發生細小個蟲更多故

事我人住個處應當擇空氣

清淨生鮮個處不勿食不淨

潔個水不勿食不淨潔個麼

此個是衛生個道

第三課 微生物豫防法

病是發在細小個蟲常々自

痰涎散出來個以相別

人故事痰涎必定以麼他

如是無麼即噴略手巾內

不論客廳室與道途處總

不可任意噴如撞着瘟疫發

生時食臥睡起身尤不可與

ノ不潔物ニハ 微菌ノ發生スルコト殊ニ多イ

故ニ我々住處ハ 當然空氣ノ新鮮 清潔ナ處

ヲ擇ハネバナラヌ 不潔ナ水ヲ飲ンデハナラヌ

不潔ナ物ヲ食ベテハナラヌ 是ガ衛生ノ道デア

ル

微菌豫防法

病氣ハ微菌カラ發生スル 不斷痰唾カラ飛散ス

ルノガ 他ノ人ニ傳染スル 故ニ痰唾ハ必ズ

器物ノ中ニ吐カネバナラヌ 若シ何モナカツタ

ラハンカチノ中ニ吐イテ 無論客間ヤ道路ニハ

總テ任意ニ吐イテハナラヌ 若シ流行病ガ發生

シタ時ニ出會シタラ 飲食起臥共ニ病人ニ接近

シテハナラヌ 使用スル所ノ器具物件ハ 當

病人接近所用個器皿物件

應當以沸水或有消毒藥水

洗他此個防備微生物個法

○

第四課 洗浴

皮膚有孔所以流出汗水個

如有垢塞汗即不落得

出故事洗面洗浴應當

○洗面洗浴不只是除去垢

○又能作血流行如用冷

水洗面洗浴皮膚即強壯

偶然胃寒氣不容易使病

惟洗浴後必定以乾布擦他

使皮膚紅潤然後停衫褲與

然熱湯又ハ消毒藥ヲ洗ハネバナラヌ 是

即細菌豫防法デアル

沐浴

皮膚ニハ孔ガアルノテ 汗ガ流レ出ルノデアル

垢カ塞イダラ 汗ハ流レ出ナイ 故ニ洗面沐

浴ニ勉メネバナラヌ 洗面沐浴ハ 只垢ヲ除

クバカリテハナイ 血液ノ循環モ能クスル

若シ冷水ヲ用キテ 洗面沐浴ヲスルト 皮膚

ガ強壯ニナツテ 寒氣ヲ冒シテモ 容易ニ病

氣ニナラヌ 只沐浴後ハ必ス乾イタ布テ 摩

擦チシテ 皮膚ガ紅クナツテ 後ニ止メネバ

ナラヌ 著物ヤ帽子モ亦 清潔ニシナケレハ

ナラヌ 若シソレガ汚レテ居タラ 毎日洗面

沐浴シテモ益ハナイ

帽カ 亦モ 應ス 當ル 淨ク 潔ク 如シ 是レ 任ス 使フ
他ノ 汚ク 穢ク 雖モ 然レ 日々 洗フ 面ヲ 洗フ 浴ス
不レ 益ム 個ノ

第五課

豕

子ノ 一年 生ル 二回 他ノ 個ノ 食ハ 麼シ
豕ノ 子ノ 四月 愈シ 生ル 生ル 即チ 十外
不レ 極ク 軟ク 菜ノ 根ノ 米ノ 個ノ 類ノ 總シ

豕ハ子ヲ孕ンテ四箇月テ生ム 生ムコト十餘頭

一年二回 彼ハ食物ヲ少シモ咀嚼セヌ 野菜

ノ根ヤ米ノ類ハ 皆碎キ碎イテ後 食ハセネ

バナラヌ 豚ハ暑サチ厭ヒ浴ヲ好ム 好イ水

ガナイト 溝泥ノ中ヲ轉ガリ廻ハル 故ニ豕

チ飼フニハ奇麗ナ水ヲ取テ 洗ツテヤラネバナ

ラヌ 豕肉ハ油ガ多ク 味ガウマイ只中ニ

寄生蟲ガ居ルカラ 必ズヨク煮テ 後ニ食ベ

ネバナラヌ 其鹽漬ハ股ガ最美味デアル

是レ 應ス 當ル 椿ノ 碎シ 然レ 後ニ 飼フ 他ノ 豕ノ 恐ル
熱ク 愛シ 洗フ 不レ 得ル 淨ク 潔ク 個ノ 水ヲ 即チ
翻シ 來リ 覆フ 去リ 在リ 泥中 內ニ 故シ 事ヲ 飼フ 豕ノ
個ノ 應ス 當ル 率ニ 淨ク 潔ク 個ノ 水ヲ 以テ 洗フ
他ノ 豕ノ 肉ハ 油ガ 多ク 味ハ 好シ 食ハ 惟シ
內ノ 頭ハ 有リ 寄シ 生ル 蟲ノ 必ズ 定ム 煮ク 熟シ 他ノ
然レ 後ニ 可ク 以テ 食フ 他ノ 醃リ 個ノ 脚ノ 腿ノ

極好食

第六課

鳥

鳥類 個身體 全身生毛脚前
 有翼 故事能飛高 脚子處
 有趾 能在水面水底行個
 叫作水鳥 鳥類個嘴 堅硬
 個角質 無齒 故事食麼個

鳥

鳥類ノ體ハ全身毛が生エ 足ノ前ニ翼ガアル

故ニ能ク高ク飛ブ 指ノ間ニ水掻キガアツテ

水面水中能ク泳グノチ 水鳥ト云フ 鳥類ノ

嘴ハ 硬イ角質デアツテ齒ガナイカラ 物ヲ

食ベテモ咀嚼セヌ 其骨ト毛管ハ中ガ空テ

不軟 他個骨與毛管

髓ガナイカラ 彼ノ性質ハ輕クテ能ク飛ベル

又善飛 獸總生子 鳥即生

獸類ハ皆子ヲ生ムガ 鳥ハ卵ヲ生ム 只鳥ノ

卵 惟鳥卵必定孵卵 然後

卵ハ必ス孵化シ 後ニ小鳥ニ成ル

成鳥子

貓鷹(鷹)

貓頭鷹(梟)

鵲鳥(セキレイ)

(鳥)

鴿(鳩、山鳩)

鶴鳥(鶴)

毛鳥(翡翠)

雁鳥(雁)

孔雀(孔雀)

燕鳥(燕)

鳥(雀)

叔シヤク ウヅラ 雉チイ鳥チウ (雉子) 白 (白鷺) 鵝カ (鵝鳥) 鴨ア (家鴨) 水鴨スイ (鴨)

鴛エン鳥ウ (ヲシドリ)

雞キ頭カウ (雄雞)

雞キ母ボ (雌雞)

雞 (交尾前ノ雄雞)

雞キ妹イ (交尾前ノ雌雞)

雞キ劊カウ (翠丸又ハ子宮ヲ抜キタル雞)

第七課 文字

文字

我ウ個カ心シン意イ 在ル心シン內ノウ不ス出ス得ル

自分ノ意見ハ 心ノ内ニ在テ出セナケレバ

人ヒト不ス能ス知ル 故コト事コト必ズ定ル籍セキ言コト

人ハ知ルコトハ出來ヌ 故ニ必ス言語ニヨツテ

話ワタシ通ツ達ス他カ 相ア隔ヘ稍シ遠ク 言コト話ワタシ

人ニ通スル 少シ相隔ツト 言語ハ聽コエナ

不ス可ク聽ク見ル得ル 仍シ々々無ク從フ通ツ達ス

イカラ矢張 其意志ノ通シ様ガナイ 故ニ文

他カ個カ心シン意イ 故コト事コト以テ文ブン字ジ代ヘ他カ

字ヲ以テ言語ニ代ヘル 文字ガアレバ萬里ヲ隔

有ル文ブン字ジ即チ雖シ然シ遠ク隔ヘ萬マン里リ 不ス

ツトモ 互ニ意志ヲ通スルニ難クナイ 又古

難カ互ニ通ツ他カ個カ心シン意イ 又マタ古コ人ヒト個カ

人ノ話ヲ現在ノ人ニ貽スコトガ出來 現在ノ人

話ワタシ可ク以テ略カク去ク現イマ在ノ個カ人ヒト

ノ話ヲ後世ノ人ニ貽スコトガ出來ル 其便利如

現イマ在ノ個カ人ヒト個カ話ワタシ 可ク以テ略カク去ク

何バカリデアラウカ

後世個人 他個便利的樣呢

第八課

秦始皇

秦始皇 合六國統一中原

北邊驅匈奴 南邊以南粵

土地日日廣 國個勢力大振

收稅重刑罰多 虐待人民

恐人民叛自己 收天下個兵

秦ノ始皇

秦ノ始皇 六國ヲ合シテ中原ヲ統一シ 北匈

奴ヲ驅リ 南々粵ヲ取リ 國勢大ニ振ヒシガ

苛稅ヲ課シ 濫リニ刑罰ヲ行ヒ 人民ヲ虐待

シ 人民ノ謀反ヲ恐レテ 天下ノ兵器ヲ收メ

テ之ヲ鑄テ銅像ヲ作り 人民ノ己レテ批議スル

器 鑄作銅人 怨人民議自

己 燒書冊 □讀書人 至

秦始皇死 叛他個衆多起

秦國即亡

第九課

萬里長城

我國北方 從前有匈奴個患

燕趙諸國 作城以防備他

ヲ惡ミテ詩書ヲ燒キ 學者ヲ生理ニセリ 始

皇死スルヤ 叛者群起シ 秦終ニ亡ビタリ

萬里ノ長城

我國ノ北方ハ 古ヨリ匈奴ノ患アリ 燕趙諸

國城ヲ築キテ 彼ヲ防備シ各國ハ 各國ノ領

各國保各國個土不相聯合
 至始皇伐匈奴大敗匈奴
 即修作舊城合咧作一個城
 後世叫作萬里長城年衆久
 敗去無加修作現在存個
 東邊自山海關起西邊至嘉
 峪關長總有五千外里世

土ヲ保チ 相聯合セス 始皇匈奴ヲ伐チテ大
 ニ敗リ 舊城ヲ修築シテ 合シテ一城トセリ
 後世萬里ノ長城ト稱ス 年久シキヲ經 破損
 スルモ修築セス 現在殘ルモノ 東、山海關
 ヨリ起リ 西、嘉峪關ニ至ル 長サ總テ五千
 餘里 世界ニ有名ナル大工事デアル

界有名個大工

第十課 兄弟

史小兒有兄弟作生意在別個
 鄉村每回有寄信回史小
 子必定以來讀至久久能
 自己寫信在一日有表兄
 赴至□兄個處史小兒即豫

兄弟

史小兒ニ兄ガアツテ 他郷テ商法ヲシテ居タ
 イツモ手紙ガ來ルト 史小兒ハ必ス ソレヲ
 讀ンテ 暫クシテカラ 自分テ手紙ヲ書イタ
 或日從兄ガ兄ノ處ニ行クノデ 史小兒ハ豫シメ
 一封ノ手紙ヲ書イテ 從兄ニ持テ行ツテ貰ツタ

備寫一封信用
 託表兄帶去
 兄得此封信大喜
 即信答覆他

第十一課 鐵

父問子言 五金內誰個爲
 貴誰個是便宜子言 金
 是最貴 銀是貴第二 鐵是

兄ハ其手紙ヲ得テ 大ニ喜ンテ 返信ヲ彼レ

ニヤツタ

鐵

父ガ子ニ問フテ言フ 五金ノ内ドレガ貴イカ

ドレガ安イカト 子ガ言フ 金ガ最貴トイ

銀ハ其次ギテ 鐵ガ下等デアルト 父ガ言フ

爲下 父言 金銀雖然貴
 只用作銀元與妝飾 鐵價便
 宜略用廣 住家個什物 作
 百姓與手工個器皿 用鐵最
 多 世界上百事業個振興 皆
 是鐵個功

第十二課

汽機

金銀ハ貴イケレドモ 只銀貨ト裝飾ニ用フルノ
 ミ 鐵ハ安イガ用途ハ廣イ 住宅ノ什器
 百姓ヤ工業用ノ器物 鐵ヲ使フノガ最多イ
 世界上諸事業ノ振興ハ 皆鐵ノ功績デアルト

蒸汽機關

英國人ノ名瓦持少年個時候
 視見壺内個水沸蓋自己開
 奇怪咧求他個原故初知沸
 水化成蒸汽他個力極大
 即因他個理創造火船火車
 個個他個作法有鍋與
 爐有蒸汽筒有與車輪

英國人ロツト少年ノ頃 鐵瓶ノ水ガ沸イテ
 蓋カ自分ヲ開クノヲ見テ 怪ニミ其原因ヲ研究
 シテ 始メテ湯ガ蒸汽ニナリ 其力ノ偉大ナ
 ルコトヲ知リ 其理ニ基キテ汽船ヤ 汽車ノ
 機械ヲ發名シタ 其方法ハ 釜ト爐ガアリ
 鐵管アリ 機械ト車輪ガアツテ 釜ノ中ノ水
 ナ沸カシ 蒸汽ヲ鐵管ニ通スト 機械ガ激シ

鍋内煮水通蒸汽落筒激
 動他個車輪即自己旋
 轉轉蒸汽個力愈大車輪旋
 轉愈速現在工廠船與車
 總利用他

ク動イテ 車ハ自分テ轉回スル 蒸汽ノ力ガ
 大ナレバ大ナル程 車ノ轉回ハ速イ 今ノ工
 場ヤ船ヤ車ハ 皆之ヲ利用スルノデアアル

第十三課

火船

汽船

姓宋十子隋父至江邊一隻

姓宋小兒ガ 父ニ隨ヒテ河岸ニ行クト 一隻

船破波來 上頭有烟筒 黒
 烟升上 小子問父言 前聽
 見先生言 船行 恃船帆與
 櫓 現在此隻船 無船帆與
 櫓 行極速 因個麼 父言
 此個是火船 船內有□□
 下頭有車輪 燒煤炭 蒸蒸汽

ノ船が波ヲ破ツテ來ル 上ニ烟筒がアツテ

黒烟が上ガル 小兒ハ父ニ尋ネタ 曾テ先生

カラ聽イタノニ 船ヲ行ルニハ 帆ト櫓ニヨ

ルト 今此船ハ帆モ櫓モナシニ 非常ニ速ク

行クノハ ドオ云フ譯カト 父が言フ 此

レハ汽船デアツテ 船ノ中ニ機械ガアリ 下

ニ車ガアル 石炭ヲ焚イテ蒸汽ヲ起スト 蒸

蒸汽激動車輪 船即進行

汽が車ヲ激シク動カスカラ 船が進行ス 故

故事無藉船帆與櫓

ニ帆與櫓ニ頼ラナイノデアルト

第十四課

汽車

車行在地 或有用個人力

車ヲ陸上行ルニハ 人力ヲ用ケルノモアリ

或有用畜生個力 一日不過

畜類ノ力ヲ用ユルノモアルガ 一日百里ヲ超エ

百里 自蒸汽個理 既然發

ヌ 既ニ蒸汽ノ理ガ發明サレテカラハ 水ニ

明在水即有火船 在坡即

汽船ガアリ 陸ニ汽車ガアル 汽車が行クノ

有^ハ火^カ車^シ 火^カ車^シ行^キ個^カ全^ク依^ラ賴^シ蒸^シ

汽^ク□^シ□^キ 所^ト經^キ過^コ個^カ地^リ 必^ビ定^リ

布^フ鐵^テ溝^カ 車^シ行^キ在^ル鐵^テ溝^カ上^チ 一^イ

點^ク鐘^ム可^ク以^キ行^キ百^ベ餘^{ラン}里^リ 不^ボ是^チ平^フ

常^チ個^カ車^シ 所^ト以^キ能^ク及^キ得^ル個^カ

第十五課

人^ハ個^カ身^シ體^ク 以^イ運^ズ動^ク日^{ジツ}日^{ジツ}強^キ壯^ク

運^ズ動^ク是^チ有^ウ益^ク個^カ 無^ボ如^シ體^ク操^{サウ}

體^ク操^{サウ}個^カ事^シ 進^{チヌ}退^ヘ步^{ボウ}伐^フ 各^コ有^ウ

定^リ事^シ 故^ク事^シ能^ク活^{カク}動^ク 血^フ脈^イ強^ク

壯^フ筋^キ骨^ツ 又^マ能^ク助^ト全^ソ體^ク個^カ發^ハ育^ス

學^オ生^テ在^ル學^オ校^ヒ 學^オ習^チ各^コ科^カ個^カ功^カ

課^コ 伏^フ卓^ツ個^カ時^チ 多^ト比^ビ運^ズ動^ク個^カ

時^チ 惟^ヒ能^ク時^チ常^チ學^オ習^チ體^ク操^{サウ}個^カ

ハ全ク蒸汽々罐ニヨルノデアル 通過スル地面

ニハ必ズ鐵路ヲ布キ 車ハ鐵路ノ上ヲ行ク

一時間百餘里ヲ行クコトガ出來ル 普通ノ車ノ

及アベキ所ノモノテナイ

體操

人ノ身體ハ 運動ニヨツテ日日強壯ニナル

運動ハ總テ有益デアルガ 體操ニ如クモノハナ

イ 體操ナルモノハ 進退歩行各紀律アリ

故ニ血液ノ循環ヲ能クシ 筋骨ヲ強健ニシ

又能ク全體ノ發育ヲ助ケル 學生ガ學校ニ在テ

各科ノ學課ヲ學フニ 卓ニ倚ツテ居ル時ハ

運動ノ時間ヨリ多イカラ 常々能ク體操ヲ學ヘ

ハ 身體ハ日ニ増シ強壯トナリ 病氣ハ自然

身體シニ日ヒツ日ヒツ強壯キヤンツヤン 病自然ベニチニ少シヤウ

第十六課

捉迷藏ツクミサカシ

群クン小子コト相積サウシキ 作サク工コウ個コ弄ロウ

携手カシ作大環サクオホクワ過先ワタリ 甲小子カコト立タチ

環內クワナイ以手巾イテヘン縛目バクメ 諸小子シヤウコト

環速走クワソクソウ左右各旋サウヤウカクケン三回サンクワイ然ゼン

後總蹲コトウソク在地シノチ上ウヘ 甲小子カコト叫キヤウ乙イ

小子コト乙小子イコト遠々エンエン應他オウタイ 甲

小子開手コトクワイテ摸捉モツク得一個人イツクハヒト

摩他個頭モタイコトウ處頂コトウ掣他個衫シヤクタイコトウ

撫他個脚フタイコトウ叫言キヤウゴン乙小子イコト在ル

此處ココ手巾テヘン去視他イキ即ツク丙ヘイ

小子喇コトラ再以手巾イテヘン縛目バクメ摸モウ

捉如過前ツクシヤクワマヘ至尾捉カクビツク略乙小子リヤクイコト

ニ少ナイ

盲鬼

澤山ノ小供ガ集マツテ 盲目遊チスル 先ツ

手ヲ繫イテ大キナ環ヲ作ル 甲小兒ハ環ノ中ニ

立テハンカチヲ目ヲ縛ル 皆ノ小兒ハ速ク走り

廻ハル 右ト左ニ各三回廻ハル ソシテ後チ

皆地上ニ蹲ガム 甲小兒ハ乙小兒ト呼ブ 乙

ハ遠クカラ彼ニ答ヘル 甲ハ手ヲ擴ケテ索ル

一人ヲ得ルト 其頭ノ上ヲ摩リ 其著物ヲ引

張り 其足ヲ撫テ 乙ハ此處ニ居タト叫ブ

ハンカチヲ取テソレヲ見ルト 丙小兒デアル

再ハンカチヲ目ヲ縛リ 前ノ様ニ探リテ終イニ

ハ 乙小兒ヲ捕ヘルト 乙ハ彼レニ代ツテ

盲目ニナル

即^チ叫^キ乙^イ小^ト子^エ 代^ホ他^エ作^ト □^サ □^メ 個^カ

第十七課

漢武帝

漢武帝是英雄個才大備善

用兵 彼個時候西南個夷

極強盛 武帝叫外交員通他

總歸服 撞着月氏與匈奴

有怨恨 武帝叫張騫去偵

漢武帝

漢武帝ハ英雄ノ才大ニ備ハレリ 善ク兵ヲ用ウ

彼ノ時ニ西南ノ番夷 極メテ強盛デアツタガ

武帝使ヲ遣ハシテ 悉ク歸服セシム 偶月氏

ト匈奴ト不和ナルニ遇ヒ 武帝張騫ヲシテ彼ヲ

探ラシム 騫歸リテ詳シク西域ノ地勢ト物産風

探他 至回述詳明 西域個

地勢 與物産風俗 即出兵

去伐 匈奴月氏 諸國先後

稱臣歸服 中國個威力 驚

動全西域

第十八課

馬援

馬伏波少時 無父家貧 曾

俗等ヲ報告ス ソコテ兵ヲ出シテ伐ツ 匈奴

月氏ノ諸國先ヲ爭フテ 臣ト稱シテ歸服ス中國

ノ威力全西域ヲ震駭ス

馬援

馬波(馬援)ガ少イ時父ハナク 家ハ貧シカ

言去人 丈夫貧窮志應當愈
 硬老去 應當愈壯 即親身
 自己耕田 飼牛飼馬 家財
 漸々富 無幾久 怨嘆言 總
 是增多錢 貴在能賑錢 貧人
 無是即作錢 儂 即散此多錢
 了 後來自打交趾 回 故個

ツタ 曾テ人ニ言フニ 大丈夫貧困ニシテ志
 益々硬ク 老イテハ益々壯テナケレバナラヌ
 ト ソコテ自分自身テ田ヲ耕ヤシ 牛馬ヲ飼
 フタカラ 家財ハ段々富裕ニナツタ 幾何モ
 ナク 嘆シテ曰ク 總テ財ヲ積ムモノハ
 能ク貧民ヲ賑ハスヲ貴トシトス ソレテナケレ
 バ守錢奴デアルト ソコテ悉ク其富ヲ散シタ

朋友俟他勞賞 伏波言 男
 兒應當死在疆邊 以馬革裹
 死屍回葬 的樣能臥在牀上
 死在子兒個手內嗎 月餘
 烏桓入邊境 伏波再自己請
 打他

後ニ自カラ交趾ヲ伐ツテ歸ルヤ 舊友彼ヲ迎ヘ
 テ慰勞シタ 伏波曰ク 男兒當ニ邊野ニ死シ
 馬革ニ屍ヲ裹ンテ 歸リ葬ルヘシ 何ゾ能ク
 牀上ニ臥シ 兒女ノ手中ニ死センヤト 月餘
 ニシテ烏桓(直隸ニ接スル蒙古)邊境ヲ侵ス
 伏波再ビ自カラ請フテ之ヲ伐ツ

第十九課

霜

霜

天初出日樓窗初開寒氣
 寒人姓劉小子視見家上個
 瓦總作成白色奇異言昨
 夜落雪嗎母言落霜喇不是
 雪喇小兒言的樣個叫作
 霜呢母言空中個水蒸汽
 與地面接近個落夜遇着冷

夜が明ケテ 二階ノ窓ヲ明ケルト 寒氣が身

ニ泌ミル 劉小兒ハ家ノ屋根ノ 瓦が皆白ク

ナツテ居ルノテ 不思議ニ思ツテ 昨夜雪が

降ツタト言ツタ 母が言フニ 雪デハナイ

霜が降ツタノダト 小兒ハドンナノチ 霜ト

言フノト尋ネタ 母ハ空中ノ水蒸氣が地面ニ接

近シ 夜ニ入ツテ冷氣ニ遇フト 凍ツテ霜ト

即凍結成霜現在屋上積
 霜極厚故事色白如雪

ナル 今屋上ニ 積ツタ霜ハ甚ダ厚イカラ

白サガ雪ノ様デアルト言ツタ

第二十課

甘蔗

甘蔗

甘蔗生在熱地有黑黃二種
 大個丈餘高身有目目處生
 葉長又濶甘蔗熟味即

甘蔗ハ熱イ地ニ生ズル 黑黃ノ二種ガアル

大キナノハ一丈餘ノ高サアル幹ニ節ガアツテ

節ノ處ニ葉ヲ生ズル葉ハ長ク且ツ廣イ 甘蔗ガ

愈甜以甘蔗個身搾出他
 個汗積鍋內以火煮他漸々
 凝作小粒形狀如細沙色
 赤稍黑叫作沙糖再作過他
 性質淨又白色叫作白糖

第二十一課

竹

竹身圓□□□身有目自
 目生枝與葉臥在土下個
 叫作竹□竹個性質耐得寒
 冬天無落葉不論通風向日
 個處種他無有生個□時
 候無生花至要死即開花結
 子

熟スレバ味益々甘マイ 甘蔗ノ幹ヲ取テ 其
 汁ヲ搾リ鍋ノ中ニ溜メテ 火ヲ以テ煮ルト漸々
 凝結シテ小粒トナル 形ガ沙ノ様デアル 色
 ハ赤ク少 黒イ之ヲ砂糖ト言フ 再ビソレヲ精
 製スルト 質ガキレイテ色ガ白イ之ヲ白糖ト言
 フ

竹

竹ノ幹ハ圓クシテ 中ハ洞デアアル 幹ニ節ガ
 アツテ節カラ枝ト葉ヲ生スル 地中ニ横ハツテ
 居ルノヲ 竹□ト言フ 竹ノ質ハ寒サニ耐ヘ
 ルカラ 冬デモ葉ハ落チヌ 風ガ吹キ日ガ照
 ル處デモ ソレヲ植エテツカメコトハナイ
 平素ハ花ヲツケヌガ 枯レル時ニナルト花ヲ開
 キ實ヲ結ブ

第二十二課

奇異植物

奇植物

動物有知覺 草木即無草
 木知覺 或有如動物
 個以手子撞含羞草 他個
 葉即縮小 枝亦垂落下 又
 有捉蟲草 葉上有毛 毛
 內有液 蚊與 個類 偶

動物ニハ知覺アリ 草木ハ然ラス 併シ草木
 ノ知覺ノ靈妙ナノハ 動物ノ様ナノガアル
 指ヲ以テ含羞草ニ觸レルト 其葉ヲ縮メ枝モ亦
 垂レル 又捕蟲草ニハ 葉ノ上ニ毛ガアリ
 毛ノ中ニ液ガアツテ 蚊ヤ蠅ノ類ガ 偶然其
 毛ニ觸レルト 卷イテソレヲ食フ 久シク置

然撞着他個毛 即卷着食他
 積久消化了 如食物個落胃
 相同 或有以小塊牛肉放略
 他食尤如蚊與

クト消化シテ終ウコト 食物ヲ胃ノ中ニ入レタ
 ノト同ジテアル 或ハ牛肉ノ小切ヲ置クト
 ソレヲ食フコト尙ホ蚊ヤ蠅ノ様テアル

第二十三課

簿記

簿記

銀錢出入 無論多少 少備記在
 簿 即有剩不到個 即可以

銀錢ノ出入ハ 多少ニ拘ハラズ帳簿ニ書キ留メ
 テ置クト 過不足ヲ 直グニ調メルコトが出

考査實極方便個記略在
 簿上個法來錢叫作收出
 錢叫作付收付相抵即知
 餘存個數日日記略詳明
 至月尾咧清結自然無漏無
 記着個悶

第二十四課 雞雀

兄率諸老弟遊在庭內視
 見雞棲在雞巢內足誑老弟
 言雞巢內有五隻雞如害一
 隻即剩幾多隻諸老弟總言
 四隻雞兄言着接略問他
 言樹上有六隻鳥持槍
 打他一隻鳥落咯土此

來ルノテ 實ニ便利デアアル 記帳ノ方法ハ
 入金ハ「收」ト言ヒ 出金ハ「付」ト言フ 出入
 相照スト 現在高チ知ルノデアアル 日々ノ記
 帳ハ詳細ニシテ置ケバ 月末ニ清算スルニ當テ
 書キ漏レヤ失念ノ患ガナイ

鶏ト雀

兄ガ弟等ヲ件レテ庭テ遊ンテ居タ 雞ガ巢ノ中
 ニ居ルノヲ見テ 兄ガ弟ニ言フニハ 雞ノ巢
 ノ中ニ五羽雞ガ居ル 若シ一羽ヲ殺シタラ殘リ
 幾羽カト 弟等ガ言フ四羽デアアルト 兄言フ
 其通り 續イテ彼等ニ問フ 樹ノ上ニ六羽ノ
 雀ガ居ル 銃ヲ持テソレヲ打ツタラ 一羽ノ
 雀ガ落ちタ 此時ニハ 樹ノ上ニ幾羽殘ルカ

個時 樹上 尙剩 幾多 鳥
 總對 言五 隻鳥 □ 兄言 不是
 持槍 打鳥 □ 着 □ 子個 落略
 不着 □ 子個 必定 驚飛 去
 使何 尙有 五隻 鳥 □ 嗎 諸老
 弟初 明白

第二十五課

螺與小魚

海邊 個小 魚 有 時 候 大 魚 食
 不 能 阻 得 方 邊 有 螺 見 害
 自 己 個 至 身 即 匿 在 殼 內
 不 能 傷 得 個 常 以 此 樣 驕 傲
 小 魚 小 魚 無 耐 何 在 一 日
 有 麼 自 上 下 有 大 聲 小 魚 皆
 驚 散 去 螺 仍 々 伏 略 無 動

ト 皆答へテ五羽ト言ツタ 兄言フ左様テナ

イ 銃ヲ持テ雀ヲ打ツタラ 彈丸ガ中ツタノ

ハ 落チ 彈丸ガ中ラヌノハ 必ズ驚イテ逃ゲ

去ル ドオシテ五羽ノ雀ガ殘ルモノカト 弟

ハ 始メテ分ツタ

螺ト小魚

海邊ノ小魚ハ 時ニハ大キナ魚ニ食ハレルガ防

ギ得ナイ 傍ニ螺ガ居テ 自分ヲ害スルモノ

ガ來レバ 體ヲ殼ノ内ニ匿スカラ 傷ケラレ

ナイノテ 常ニコレヲ小魚ニ自慢シテ居タ

小魚ハドオモ仕方がナカツタ 一日何カ上カラ

下リテ來テ 大キナ聲ヲシタノテ小魚ハ皆驚イ

テ散ツテシマツタ 螺ハ矢張り 伏シテ動カ

ナカツタ 暫クンテ 頭チ上ゲテ出テ窺クト

自分ハ籠ノ中ニ在テ市場ニ列ンテ買手ヲ待ツテ居

タ

押忽大珠

西國ノ一商人ガ 眞珠ヲ持テ尙文ニ賣リニ來タ

價ハ六十萬元ト言フ珠ヲ知リテ居ル者ガ言フニ

是ハ押忽大珠ト言ツテ 六十萬元彼ニ拂フモ高

至久久 □頭處出ホア去クウ窺ホア身チシ
即在竹籠内 排列在市内以

第二十六課

押忽大珠

西域有一個人作生意人 持眞
珠求賣去尙文 以價六十萬
識個言 此個叫作押忽大珠

六十萬酬謝他不多 尙文問
他言 此件寶作麼使用
他言 舍他可不渴 尙文言
一個人舍他 千萬人 不渴
即實々寶 如一粒眞珠只
應止一個人 作用已經微
我叫作寶是米與粟 百姓即

クナイト 尙文問フテ言フ 此ノ寶ハ何ニス

ルノカ 彼曰ク ソレヲ含メバ渴カヌト

文曰ク一人ソレヲ含メバ 千萬人渴セナケレ

バ誠ニ寶デアアルガ 若シ一粒ノ眞珠ハ只 一

人ニ止マルナラバ 用ヲ作スコト微小デアアル

我が言フ寶ハ米ト粟デアアル 百姓安ンズレバ

天下亂ナシ ドオシテ之レニ超ユルモノガアロ

安^ア天^{テン}下^ゲ即^キ無^ム亂^{ラン} 豈^{ナン}可^カ不^ズ好^ク
過^コ好^{ホク}個^カ嗎^マ

第二十七課

斑^{バン}超^{シヤウ}

斑^{バン}超^{シヤウ}作^サ外^{ガイ}交^{キヤウ}員^{イン}去^ク西^{サイ}域^{イク} 至^シ鄯^{シュン}
善^{セン}鄯^{シュン}善^{セン}王^{ワン}極^{キョク}禮^{レイ}他^{タイ} 遇^ユ着^{シヤク}匈^{フン}
奴^ヌ個^カ外^{ガイ}交^{キヤウ}員^{イン}至^シ 忽^{フツ}然^{ゼン}疏^ス懈^{ロア}
斑^{バン}超^{シヤウ}召^{シヤウ}集^{シヤウ}兵^{ヒヤウ}言^{ゴン} 不^ボ入^{ニツ}虎^コ穴^{ヒツ}不^ボ

オカト

斑超

班超西域ニ使シ 鄯善ニ至リシニ 鄯善王極

メテ禮ヲ厚ウス 偶々匈奴ノ使來ルヤ 忽チ

疎略ニス 班超兵ヲ集メテ言フニ 「虎穴ニ入

ラスンバ虎子ヲ得ズ」ト 夜間匈奴ノ營ニ至リ

得^{トク}虎^コ子^シ 夜^ヤ頭^{トウ}至^シ匈^{フン}奴^ヌ個^カ營^{イン}

斬^{ツク}他^{タイ}個^カ外^{ガイ}交^{キヤウ}員^{イン} 即^キ打^ダ略^{ロク}鄯^{シュン}善^{セン}

定^{テイ}于^ユ闐^{テン}與^{イン}疏^ス勒^{ロク} 接^{セツ}略^{ロク}又^{マタ}請^{シヤク}發^{ハツ}

兵^{ヒヤウ}征^{テイ}打^ダ未^ム歸^キ服^{フク}個^カ諸^{シヤク}國^{クニ} 威^{ウイ}

力^{リキ}驚^{キヤウ}動^{ドウ}遠^{エン}近^{キン} 對^{タイ}班^{バン}超^{シヤウ}作^サ遠^{エン}候^{コウ}

第二十八課

諸^{シヤク}葛^{カク}亮^{リヤウ}

諸^{シヤク}葛^{カク}亮^{リヤウ}孔^{コン}明^{メイ} 隱^{イン}居^キ在^シ南^{ナム}陽^{ヤウ}

彼ノ使チ 斬ツテ鄯善ヲ下ダス 定于闐ト疏

勒 相繼イテ班ニ請フテ兵ヲ發シ 未ダ歸服

セザル諸國ヲ征伐シ 威遠近ヲ驚動シ 班超

ヲ封シテ遠侯トス

諸葛亮孔明

諸葛亮孔明 南陽ニ隱居ス 劉備彼ノ 家

劉備去他個屋訪問三回始
 愈得見與他言天下個事
 大歡喜即出來作官至劉
 備作皇帝孔明作丞相皇
 帝死受皇帝個書輔作皇
 帝個子有時候南夷無服
 率兵打他南夷個頭叫作孟

ヲ訪ノコト三度ニシテ 始メテ面會シ 與ニ
 天下ノ事ヲ談ズ 大ニ喜ビ 出テ官ニ就ク
 劉備皇帝トナルヤ 孔明宰相トナル 皇帝死
 シ 皇帝ノ遺書ヲ受ケ 皇太子ヲ輔佐ス
 或時南夷服セズ 兵ヲ率ヒ彼ヲ打ツ 南夷ノ頭
 目ヲ孟獲ト言フ 勇悍ニシテ名アリ 孔明彼
 ナ心服セシメント欲シ 七度捕ヘテ七回放ツ

獲勇氣有名孔明欲服他
 個心捉七回放七回孟獲
 停止不再去南方既然平
 更去北出兵打魏與魏個將
 叫作司馬懿相打分勝負
 無幾久孔明病死在軍中

第二十九課

民族

孟獲停リテ再ビ去ラス 南方既ニ平定ス 更
 ニ北方ニ兵ヲ出シ魏ヲ伐ツ 魏ノ將ヲ司馬懿ト
 言フ 相持シテ下ラズ 幾何モナク 孔明
 軍中ニ病死セリ

民族

我國土地大廣民族複雜

更有名個 叫作漢 叫作滿

叫作蒙 叫作回 叫作藏

只是人類好移動 遷移不定

戰爭個 作生意個 作官個

種々原因 或有一族分作幾

族 或有幾族混合作一族

故事現在個名 雖然無同

究意事實 殆無從分辨個

現在合五大民族 建立民國

有福同享有患相共 更不用

言分界限

第三十課

武漢

武昌是湖北省第一縣個

我國ハ土地大ニ廣ク 民族複雜ナリ 其有名

ナルモノハ 曰ク漢 曰ク滿 曰ク蒙

曰ク回 曰ク藏 然シ人類ハ移動チ好ミテ

遷移常ナシ戰爭 商業 行政種々ノ原因ニヨ

リ 或ハ一族分レテ數族トナリ 數族混合シ

テ一族トナル 故ニ現在ノ名稱ハ 同ジカラ

ズト雖 畢竟事實ハ 殆ンド分別シ難シ

今ヤ五大民族ヲ合シテ 民國成立セリ福有レバ

之ヲ共ニ享ケ 患有レバ之ヲ共ニス更ニ境界ヲ

論ズルノ要ナキナリ

武漢

武昌ハ湖北省第一ノ縣ニシテ 長江ノ東岸ヲ占

占據長江東圯隔江與漢口
 與漢陽相對面自古叫作
 重鎮漢口是漢水落長江個
 口京漢鐵路自此處直々
 通達至北京粵漢川漢兩條
 鐵路亦要以此處作了點
 實南北交通個緊要個地方

メ江チ隔ア、漢口ト漢陽ト相對シ古
 ヨリ重鎮ト稱セラル漢口ハ漢水長江ニ注ケ川
 口ニシテ京漢鐵道ハ此處ヨリ眞直ニ北京
 ニ通ジ粵漢川漢兩鐵道ハ亦此地チ以テ終
 點トセントス實ニ南北交通上緊要ナル地方ナ
 リトス革命戰爭ニ民軍突然武昌ニ起リ
 一日ニシテ漢陽チ取り又一日チ經テ漢口チ取

革命個戰事民軍忽然起在
 武昌過一日又得漢陽又
 過一日得漢口形勢所在故
 事兵家必定爭他

第三十一課 長江

我國大川以長江爲極有名
 總是九千九百餘里長他個

レリ形勝ノ地ナルガ故ニ兵家ハ必ズ此地チ爭
 フ

楊子江

我國ノ大川ハ長江チ以テ最有名トス長サ
 總テ九千九百餘里其源ハ青海ヨリ發シ東

源自青海發起 東南流經
 過川邊落雲南 曲略東北
 仍自四川東邊 經湖北湖南
 江西安徽江蘇 流過落海
 下游水深又濶 支流極多
 既便利交通 尤更方便灌
 田故事南北兩邊岸 總作

南ニ流レ 川邊ヲ經テ雲南ニ入り 東北曲ガ
 リテ 仍ホ四川ノ東ヨリ 湖北湖南江西
 安徽江蘇ヲ經テ海ニ注グ 下流ハ水深ク且廣シ
 支流甚多ク 交通ノ便利ナルノミカ 灌漑ノ
 便更ニヨシ 故ニ南北兩岸 皆富裕ノ地ナリ
 トス

富庶個地

第三十二課 黃河

黃河是我國第二個大水源
 亦出在青海自甘肅落綏遠
 曲略南經過山西陝西個處
 出龍門山 曲略東經過河
 南直隸山東落海 總有八千

黃河

黃河ハ我國第二ノ大河デアツテ 源ハ矢張り青
 海ニ出ヅ 甘肅ヨリ綏遠ニ入り南ニ折レ 山
 西陝西地方ヲ經テ龍門山ニ出テ 東ニ曲ガリテ
 河南直隸山東ヲ經テ海ニ注グ 長サ八千八百餘
 里 黃河ノ上流ハ 多ク溪谷ノ間ヲ流レ高低

八百餘里長 黃河上流多
 流山谷内自高低 水勢流下
 愈急 出龍門山 流在平地
 勢即流緩 使泥沙隨處塞積
 河身漸々高 臨河個地反低
 過河身 故事作長堤防他
 至春天 秋天漲起 往往水破

アリ 水勢下ルニ從テ急ニシテ 龍門山ニ出
 デ、 平地ヲ流レ水勢緩ナリ 土沙隨處ニ堆
 積シ 河身段々高ク 河ニ臨ム地方ハ却テ河
 身ヨリ低キガ 故ニ長堤ヲ作ツテ之ヲ防ケ
 春秋ニナルト氾濫シ 往々長堤破レテ 四邊
 ニ出 害甚多シ

長堤流出四邊 作害極多

第三十三課

群蟻

群蟻

群蟻相與扛螳螂行 螳螂一
 奮他個手即 蟻仆個無算
 只是連時仆連時起 扛行如
 過前至尾曳落孔 以一
 蟻比螳螂 蟻即小螳螂大

群蟻が一シヨニ螳螂ヲ運ブニ 螳螂ガ彼ノ手ヲ
 一振スルト 蟻ノ仆レルコト無數デアル 然
 シ仆レテハ起キ仆レテ起キスルコト 前ノ如ク
 シテ 終イニハ孔ノ中ニ曳キ込ンダ 一匹ノ
 蟻ハ螳螂ニ比ベルト 蟻ハ小サク螳螂ハ大キイ

以千百個蟻比螳螂

小蟻大故事天下最强個

無如群力果能合群誰個

能敵得

第三十四課

綿羊

綿羊個角彎曲如螺旋或有

無角個肉與乳可以食得

ガ千百ノ蟻ヲ以テ螳螂ニ比スルト 螳螂ハ小サ

ク蟻ガ大キイ 故ニ天下最強ノ者モ 群力ニ

ハ及バヌ 果シテ群ヲ合スルコトヲ得バ 誰

カ敵セン

綿羊

綿羊ノ角ハ曲ガツテ 螺旋ノ様デアアル角ノナイ

ノモアル 肉ト乳ハ食ベラレル 皮ハ毛皮ノ

皮可以作得毛衫革可以作

袋毛個作用尤更大他個

毛細長又軟可以織呢

絨與氈個類我國西北方各

省皆有綿羊彼處個人多

以他個毛以織麼個用民

國成立改衫褲個例用呢

著物が出来 革ハ袋が出来ル 毛ノ用途ハ更

ニ廣イ 其毛ハ 細ク長ク柔カテ シユス

絨毛氈ノ類ヲ織ル 我國西北地方ハ 皆綿羊

ガ居ル 彼チラノ人ハ多ク 其毛ヲ以テ織物

ヲ拵ヘル 民國成立シテ 服制ガ改メラレ

羅紗ノ需用益々多イカラ 羊毛ノ用途ハ益々廣イ

愈多 羊毛 個功用 即愈廣

第三十五課

農

作百姓人住在村 以耕田作

事業 如麥 如稻 如豆 如棉

如菜 作百姓 個收獲 各有

一定個時 故事 常々 全年力

勞苦不得停閒 此樣人

事了又有飛蛾 食稻蟲 水

浸天旱 作風 落雹 一

且忽然至 即收得個麼 常

使無熟 畜生 肥料與一切

作田 個器皿 總不能缺 作

百姓 個勞苦 費錢 此樣

彼閒坐 食個 不可不念他個

農

百姓ハ村ニ住ンテ居テ 田ヲ耕シ仕事ヲスル

麥ダノ 稻ダノ豆ダノ棉ダノ菜ダノト 百姓ノ

收穫ニハ 各一定ノ時ガアルカラ年中勤勉

勞苦シテ休ム暇ハナイ 斯クシテ人事ヲ盡クス

又蛾、イナゴ 水害 旱魃 暴風 降雹

等突然起ルト 收穫物ハ イツモ實ノラナイ

家畜ヤ 肥料ヤ一切ノ農具類一ツモ 缺ガサレ

× 百姓ノ勞苦ト 經費ヲ要スル斯クノ如シ

テアル 彼ノ坐ナガラ食フ者ハ 百姓ノ功勞

ヲ思ハネバナラヌ

功

第三十六課

工

工

世界個麼 或有生在天成

世ノ中ノ物ハ 天然ニ成ルモアリ 人工ニ成

或有自人作 棉與蠶繭生

ルモノモアル 棉ヤ繭ハ 天然物デアツテ、

在天成個紡他作紗 縲他作

ソレチ紡ギテ紗チ作り ソレチ縲リテ絲チ作レバ

絲他個價即多更織以作

其價ハ倍加スル 更ニ織ツテ布ヤ絹布チ作ルト

布與細布 價即又更多如

價ハ更ニ増加スル 若シ美麗ナ染料チ使ツテ

是加個顏料 或有刺繡

刺繡チシ 極上等ノモノハ其價激增スル 其

極好個他個價 又忽然增

他ノ物ノ價モ人工ニヨツテ 増加スルコト是レ

多別樣麼個價 因人個工

ニ類セザルモノハナイ 工業ノ利モ大キイデハ

又加多個無有如此樣

ナイカ

工個利大個嗎

第三十七課

商

商

日用個麼 或有出在百姓

日用ノ物ハ農業ノ產物モアリ 工業ノ產物モア

或有出在手工 如是无俟作
 生意個 此樣百姓手工所出
 常因地方不同 總是日日作
 用個 如布與細布作個衫褲
 如五穀作個食 如五金與石
 與柴作個宮室作器皿 實
 無一個地方 個百姓手工作

ルガ 若シ商人ニヨラナケレバ 農工ノ物ヲ
 産スト雖 地方ニヨリテ同一テナイ 總テノ
 日用品デアアル 所ノ布ヤ絹布ヲ作ツタ 着物
 五穀ヲ作ル食物 金銀銅鐵錫ヤ石ヤ木材ヲ作ル
 建物器具ノ如キ 固ヨリ一地方ノ農工ニヨツテ
 悉ク揃フモノデハナイ 只商人ガ運搬シテ能ク
 彼地此地ノ物ヲ一地方ニ集メルノデ 使用者ハ

能全備個 惟有作生意個以

轉運個 即能以四方個麼

積在一個地方 用麼個無俟

遠買 此樣作生意個所以可

以貴個

第三十八課

上海

上海是江蘇省 個一縣地住

上海

上海ハ江蘇省ノ一縣デアツテ 地ハ楊子江ノ下

遠クカラ求メヌモヨイ 是レ商業ノ貴ブベキ
 所以デアアル

長江個下游 東邊臨大海
 交通便利中外 國外個貨
 總積在此處 民國成立以前
 七十年劃城北個地作外
 國租借個界管理地方個權
 即歸外國人 近來我國個作
 官作生意個 就近租界南北

流ニ位シ 東方ハ大海ニ臨ミ 交通便利中外
 ノ物質 皆此地ニ集マル 民國成立前七十年
 城北ノ地ヲ劃シ 外國ノ租界トナシタレバ
 地方管理權ハ外國人ニ歸シタリ 近頃我國ノ官
 吏商人等 租界ノ南北ニ近ク 市場ヲ經營シ
 又將ニ城壁ヲ取除カントス 交通便利ニシテ時
 ニヨリ 繁榮同シカラサルモ 當ニ租界ニ讓

謀作商場 又要城牆折除
 以利便交通 時候繁盛不同
 當不遜在租界

第三十九課

烹飪

我人常々食個 糜 米 麥 豆 菜
 所以食飽個 魚肉 蔬菜
 蘇作膳糜 煮糜食個法

料理

我々日常ノ食物ハ 米、麥、豆、野菜ヲ饑ヲ充
 タスノデアツテ 魚肉、蔬菜、瓜等ハ膳ヲ賑ハ
 スノデアル 食物ヲ煮ル方法ハ 物ニヨツテ

因^イ麼^シ不^ボ同^ダ 或^シ有^ウ煮^バ個^カ 或^シ有^ウ
 蒸^モ個^カ 或^シ有^ウ炒^チ個^カ
 食^チ麼^シ不^ボ好^ホ 極^キ容^ヨ易^イ使^シ病^ビ 故^コ
 事^シ有^ウ稍^シ腐^フ個^カ 麼^シ 或^シ有^ウ已^イ經^キ腐^フ
 個^カ 總^ソ不^ボ可^ク以^イ食^シ 薑^キ、蕃^ホ椒^ア、葱^ソ
 蒜^ソ 他^タ個^カ味^ミ辛^シ辣^ラ 多^タ食^シ他^タ
 亦^オ使^シ傷^ウ身^シ體^{テイ} 不^ボ可^ク不^ボ謹^{キン}慎^{シン}

同一デナイ 或ハ煮タリ 或ハ蒸シタリ

或ハ炒ツタリスル

食物ガ惡イト 病氣ニナリ易イ 故ニ少シ怪

シイモノ 又ハ已ニ腐敗シタモノハ 總テ食

ベテハナラヌ 薑、蕃椒、葱、蒜ハ其味辛イ多

ク食ベルト 矢張體ヲ害スルカラ 謹シマホ

バナラヌ

第四十課 油

油^イ有^ウ衆^ホ多^ト種^チ 調^テ煮^ク食^チ麼^シ常^エ
 用^ユ豆^ト油^イ 菜^{サイ}油^イ 麻^マ油^イ、地^チ生^シ油^イ 第^{ダイ}
 二^ニ 豆^ト油^イ 以^イ牛^ニ莊^ト爲^シ極^キ多^ト 第^{ダイ}
 二^ニ 卽^チ青^セ口^カ 各^コ省^シ總^ソ買^キ他^タ房^{ホウ}
 室^シ器^キ皿^{モン} 所^ト用^ユ個^コ柴^{サイ} 乾^{カン}燥^{サウ}卽^チ
 容^ヨ易^イ裂^レ 濕^{シツ}濕^{シツ}卽^チ容^ヨ易^イ腐^フ 以^イ

油

油ニハ澤山ノ種類ガアル 食物ノ調理ニハ常ニ

豆油ヲ用ケル菜油、胡麻油、落花生油之ニ亞ケ

豆油ハ牛莊ガ最多ク出來ル 次ヲ青口トス

各省皆彼レニ求メル 家屋、器物ニ使ツタ木材

ハ乾燥スルト裂ケ易イ 濕メルト腐レ易イ

ソレニ桐油ヲ塗ルト 久シク經ツテモ腐敗シナ

桐油塗他
可以經衆久不敗

燈火用亦倚賴在油自

煤水盛行用豆油菜油個

日過日愈少

第四十一課

醬油

醬是調和味個造醬個法

以熟豆或有麥餅放在陰

イ 燈火用モ亦油アルガ 石油ガ盛ンニナ

ツテカラハ 豆油ヤ菜種子油ヲ用ユルノハ

日ニ増シ減少スル

醬油

醬ハ味ヲ付ケルモノデ 製造法ハ 煮豆カ麥

團子ヲ暗イ處ニ置クト 數日ニシテ發酵スル

暗個處過幾日發酵以盛

在缸內加以鹽水乾曝他

月餘醬成略以豆作個

叫作豆醬以麥作個叫作

麥醬搾豆醬拾他個汁即

叫作醬油他個色是黃曝

他即黑煮糜食個必定用

瓶ノ中ニ入レテ置イテ 鹽水ヲ加エテ乾燥サス

ト 月餘テ醬ガ出來ル 豆テ作ツタノヲ豆醬

ト言ヒ 麥テ作ツタノヲ麥醬ト言フ 豆醬ヲ

搾ツテ汁ヲ溜メタノガ 醬油ト言フ 其色ハ

黃色デ 之ヲ曝セバ黒クナル 物ヲ煮ルニハ

必ズソレヲ用キテ 味ヲ付ケル

他以調味

第四十二課

鴉食貝

潮初熟 群貝露出沙上 衆

多 鴉即食他 貝殼硬

鴉盡力啄他 不能破得 故

事各々咬貝 高飛至三四十

丈 即落貝在石個上 破他

鴉、貝ヲ食フ

潮ガ退イテ 貝ノ群ガ沙上ニ露出シテ居ルト

鴉ガソレヲ食フニ 殼ガ堅イカラ 鴉ハ極力

ソレヲ啄クガ 破ハスコトハ出來ヌ ソコデ

各々貝ヲ咬ヘテ高ク飛ビ 三四十丈ニ至ルト

貝ヲ石ノ上ニ落シ ソレノ殼ヲ破リテ 其ノ

個殼食他個肉 不論麼個落

下個 愈高力即愈大 如擲

杯在地 高約有一尺 往往

無使恙 如至十餘尺以上

未有不破個 鴉知此樣個

理

第四十三課

義馬

肉ヲ食フ 何物デモ落スニ高ケレバ 高イ程

力ガ大キイ 茶碗ヲ地ニ投ゲルニ 約一尺位

ノ高サデハ 住々無傷デアルガ 若シ十尺以

上ニナルト 破ハレナイモノハナイ 鴉ハ此

ノ道理ヲ知ツテ居ル

義馬

有^リ一^イ個^カ馬^ウ兵^ビ 出^ス去^ク打^ツ戰^チ作^ト與^ル
 敵^レ所^ト捉^リ上^チ脚^カ 拮^コ手^コ拮^コ 放^バ在^ル後^ア
 營^イ半^マ夜^メ聽^キ見^キ馬^ウ 叫^キ個^カ聲^シ 審^シ
 爲^イ自^ラ己^キ個^カ馬^ウ 仆^ボ咧^レ去^ク馬^ウ 個^カ處^レ
 以^イ齒^キ咬^カ斷^リ馬^ウ 繩^ト 叫^キ他^イ速^ク去^ク
 馬^ウ立^キ起^キ 視^シ見^キ主^ウ人^ナ 被^ビ人^ナ鎖^ト 略^ロ
 不^ボ能^レ行^キ得^ル 即^チ以^イ口^ス咬^カ主^ウ人^ナ

一人ノ騎兵ガ 戰爭ニ行ツテ敵ニ捕虜トナツテ
 手拮足拮ヲカケラレテ 後ロノ營舎ニ置カレタ
 夜半馬ノ嘶クヲ聽イテ 自分ノ馬デアルコト
 ナ知ツテ 匍匐ツテ馬ノ處ニ行キ 齒ヲ以テ
 馬ノ綱ヲ咬ミ切り 速ニ去レト命ジタ 馬ハ
 立テ主人ガ繫ガレテ居ルヲ見テ 去リ得ナイ
 ソコテ主人ヲ咬ハエテ 速ニ走り歸ツタ 人

速^ク々^ク走^ク回^ク 人^ナ總^ト稱^シ讚^シ 叫^キ作^ト義^イ
 馬^ウ

皆之ヲ稱讚シテ 義馬ト稱シタ

第四十四課

唐太宗

唐太宗

唐^シ朝^ウ李^リ世^シ民^シ 勇^シ敢^カ知^{タイ}兵^ビ 佐^ト
 高^カ祖^ト成^チ皇^ウ帝^ロ 個^カ事^シ業^ゴ 國^ク內^ノ漸^ム
 々^ク定^チ即^チ再^サ出^ス兵^ビ 國^ク外^ノ 李^リ世^シ民^シ
 既^キ然^シ作^ト皇^ウ帝^ロ 以^イ突^フ厥^キ極^ク強^ク

唐代李世民 勇敢ニシテ兵法ヲ知ル 高祖ヲ

佐ケテ皇業ヲ成シ遂ゲシメ 國內漸ク平定シ

再ビ國外ニ兵ヲ出ス 李世民既ニシテ帝位ニ即

ク 突厥最強シトス 先ヅ李靖ニ命ジテ彼ヲ

過前叫李靖打勝他 又叫將

打吐蕃伐高麗 開闢土地日

日廣 李世民立志謀治 能

用賢人 自東晉以下 擾亂

二百餘年至現在 即再視太

平個象

第四十五課

冰

水

伐チ又將ニ命ジテ 吐蕃ヲ伐チ高麗ヲ討ツ

土地ヲ開拓スル 日ニ増シ廣シ 李世民銳意

治ヲ謀ル 能ク人材ヲ用ユ 東晉ヨリコノカ

タ 擾亂二百餘年 今ニ至リテ再太平ノ象ヲ

視ル

梅花開多 姓包小子折幾枝

挿磁器瓶内 以水落下 放

在書按頭 天光早起去至書

案 視見瓶裂痕 疑人作敗

走去告着 父言 總是

麼物熱即漲 冷即縮 惟水

至結冰個時候 不縮反漲

梅・花ガ澤山開イタ 包小兒ガ數枝ヲ折ツテ

陶器ノ瓶ニ挿シテ水ヲ入レ 書卓ノ上ニ置イタ

朝早ク書卓ニ行ツテ見ルト 瓶ガ裂ビタ跡ガア

ル 人ガ破ツタノダト疑ツテ 走テ父ニ告ゲ

タ 父ガ言フニハ 物ハ皆熱スレバ膨脹シ冷

ユレハ收縮スルガ 只水ガ結氷シタ時ハ 收

縮セズニ反テ膨脹スル 昨夜ハ大分寒カツタカ

昨夜極寒 瓶口個水 結硬
 冰過前 下頭亦 漸々凝結
 愈漲愈大 瓶不能盛得咯
 故事破裂

第四十六課

物體

曝冰在日頭下 冰即變作水
 煮水在鍋內 水即變作蒸汽

ラ瓶ノ口ノ水ガ 先ツ凍ツテ 段々下ノ方ガ
 凝結スルニ隨テ膨脹シタノデ 瓶ニ入り切レナ
 カツタカラ 破裂シタノデア
 水チ太陽ニ曝スト 氷ハ水ニ變ズル 水チ鍋
 ノ中テ煮ルト 水ハ蒸汽ニ變ハル 是レ一物

物體

是一件麼變三回 冰凝硬
 是作硬體 水流動 是作液體
 是作氣體 總要遇着冷即氣
 是作氣體 總要遇着冷即氣
 體變作液體 液體變作硬體
 遇着熱即相反 世間無生物
 個物總有此樣變三回 水這

ニシテ三變スルナリ 氷ハ凝結シテ硬イ 之
 チ固體トス 水ハ流動スル 之チ液體トス
 蒸汽ハ空中ニ昇リ 目ニ見エズ之チ氣體トス
 要之冷氣ニ遇ヘバ 氣體變シテ液體トナリ
 液體變シテ固體トナル 熱ニ遇ヘハ之ト反對ナ
 リ 世ノ中ノ無生物ハ 皆此様ニ三變スルガ
 水ハ其最モ 顯然タルモノデア
 水ハ其最モ 顯然タルモノデア

個極顯然個

第四十七課

廢物

世界上個廢 各有各個使用

無使用個 叫作廢棄個廢

食物剩骨 燒柴剩灰與破衫

不堪得遮身體個 總是此

樣骨可以作得器皿 灰可以

廢物

地球上ノ物ハ 各々夫レ々々用途ガアル 使途

ナイモノヲ廢物ト言フ 食剩マシノ骨、木ヲ燒

イタ殘リノ灰ヤ 著物が破レテ 著ラレナイ

モノ 皆是レテアル 骨ハ器物ヲ作ルコトガ

テキル 灰ハ石鹼ガ出來ル 木綿ヤ絹ノ破レ

以以來油 粗布細布破個

可以製造紙 一切廢棄廢廢

無有無如此樣 故事工業個

種類愈多 廢棄個廢愈少視

人善用與不使用

第四十八課

南京

明朝朱元璋 以作百姓人起

タノハ 紙ヲ製造スル 總テノ廢物ハ是レニ

類セヌハナイ 故ニ工業ノ種類ガ 多ケレバ

多イ程 廢物ハ少ナイ 人が能ク使用スルカ

使用セヌカニアル

南京

明朝ノ朱元璋ハ 百姓ヨリ兵ヲ起シ 元ニ代

兵^{ヘイ}代^{ダイ}元^{ゲン}朝^{テウ}作^{サク}皇^{ウイ}帝^{テイ}京^{ケン}城^{テイ}定^{テイ}
 在^{ザイ}金^{キン}陵^{リン}名^{メイ}叫^{キョウ}作^{サク}應^{テイ}天^{テン}府^フ他^タ
 個^{カク}子^シ成^{テイ}祖^ソ移^イ去^ク北^{ペイ}平^{フイ}住^{ジュ}無^ム幾^キ
 久^ク改^{カイ}作^{サク}順^{ジュン}天^{テン}府^フ因^{イン}此^チ樣^{ヤウ}號^{ハウ}
 順^{ジュン}天^{テン}府^フ作^{サク}北^{ペイ}京^{ケン}應^{テイ}天^{テン}府^フ作^{サク}南^{ナン}
 京^{ケン}南^{ナン}京^{ケン}是^シ倚^イ山^{サン}帶^{タイ}長^{チヤウ}江^{キヤウ}形^{ケイ}
 勢^{セイ}雄^{ユウ}壯^{チュウ}好^{コウ}過^{カク}東^{トウ}南^{ナン}並^{ペイ}且^チ有^{ユウ}

ツテ皇帝トナレリ 金陵ニ京城ヲ定メ 名ケ

テ應天府ト言フ 其子成祖北平ニ移リ住ミ間モ

ナク 改メテ順天府トス 因テ順天府ヲ號シ

テ北京トシ 應天府ヲ南京トス 南京ハ山ヲ

負ヒ楊子江ニ沿ヒ 形勢雄壯東南ニ冠タリ

且ツ津浦鐵道アリテ 北ハ天津ニ通シ 滬寧

鐵道アリテ 東上海ニ達シ舟車ノ往來 水陸

阻碍ナシ 故ニ民國成立當初 此地ヲ以テ臨

時國都トセリ

津^{チン}浦^フ鐵^{テイ}路^ロ北^{ペイ}邊^{ペン}通^{トウ}天^{テン}津^{チン}滬^フ
 寧^{ネイ}鐵^{テイ}路^ロ東^{トウ}邊^{ペン}至^シ上^{シヤウ}海^{ハイ}舟^{シュウ}車^{チュウ}
 去^ク來^{ライ}水^{スイ}陸^{ロク}無^ム阻^ソ塞^{サイ}故^コ事^シ民^{ミン}
 國^{クワク}成^{テイ}立^{テイ}初^{チュ}頭^{トウ}以^イ此^チ處^{チュ}作^{サク}臨^{リン}時^{テイ}
 個^{カク}京^{ケン}城^{テイ}
 第^{ダイ}四^シ十^{ジュウ}九^ク課^カ 北^{ペイ}京^{ケン}
 北^{ペイ}京^{ケン}住^{ジュ}在^{ザイ}直^{チキョク}隸^{レイ}省^{シヤウ}□^{カク}□^{カク}北^{ペイ}京^{ケン}

北 京

北京ハ直隸省ノ中央ニ在リ 北京ハ萬里ノ長城

倚萬里長城 東邊近渤海
 形勢冠各省 有內外二個城
 內城官衙林立 各國公使館
 總在內頭 舊時候皇宮皇殿
 盤踞在 巍牆峻宇 至
 極 外城圍內城個
 南邊 作生意極熱鬧 京奉

ニ倚リ 東ハ渤海ニ近ク 形勢各省ニ冠タリ
 內外二個ノ城アリ 內城ハ官衙林立シ 各國
 公使館皆ナ此ノ内ニ在リ 昔ノ宮殿中央ニ盤
 踞ス 巍牆峻宇 侈華麗ヲ盡セリ 外城
 ハ內城ノ南ヲ圍ヒ 商業殷賑 京奉京漢鐵道
 停車場ヲ此處ニ設ク 北京ノ地勢ハ 中央ニ
 在リテ外ヲ制馭スルニ適ス 故元、明、清ノ

與京漢鐵路 總設總車站在
 此處 北京個地勢 得在
 □ 馭外頭個合宜 故事元
 明清三朝總以此處作京城
 現在民國仍照此樣
 第五十課 朋友
 姓程姓董二個學生 住同村

三朝皆ナ此處ヲ京城トセリ 現民國モ尙是レニ
 倣フ
 朋友
 程、董ノ二學生ハ 同村ニ住ミ同學校ニ學ビ

音アルヲ以テ直チニ之ヲ福建語系ノモノナリト即斷スルコトハ不可ナリト信ス
 本稿中ヨリ音韻上ヨリ推斷シテ確實ニ字音ヨリ來リタル音調ナリト認め得ヘキ
 モノヲ抉出シ一々之ヲ臺灣語（福建語系）字音ト比較スルニ左ノ如キ一定ノ法
 則アルヲ見ルヘシ（別紙第二號參照）

（臺灣語） （海南語）

上平調	ハ	下去調
下平調	ハ	上去調
上聲調	ハ	下平調
上去調	ハ	上平調
下去調	ハ	上聲調

上入調	ハ	下入調
下入調	ハ	上入調

（七聲符號ハ之ヲ略ス）

五 本書ニ附セル音調符號ハ總テ別表第二號ニ基ケルモノナリ抑發音ノ聽取ハ一、
 發音者ガ發音ノ鮮明ヲ缺ク場合二、聽取者ガ音調ノ變化狀態ヲ其儘聽取シタル
 場合三、音便狀態ヲ聽取シタル場合等アリテ眞ニ容易ナル業ニ非ス本書全體ニ
 互リテ詳細ニ之ヲ點檢スルトキハ井然トシテ確乎タル法則ノ下ニ作製セラレタ
 ルモノナルコトヲ認め得ヘク著者其苦心ノ存スル所亦窺フニ餘リアルヘシ

別表第二號

臺、海、音調比較表 (1) 臺海……上平
海……下去

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
脚 ^カ	脚 ^カ	1	香 ^{バン}	香 ^{ファン}	46	間 ^{カマ}	間 ^カ	142
刀 ^カ	刀 ^カ	2	風 ^{ホン}	風 ^{ホン}	47	三 ^{サム}	三 ^{サム}	144
山 ^カ	山 ^カ	2	聲 ^{シヤ}	聲 ^{シヤ}	51	消 ^{シヤウ}	消 ^{シヤウ}	145
身 ^{シヤ}	身 ^{シヤ}	2	輕 ^{キヤ}	輕 ^{キヤ}	137	心 ^{シム}	心 ^{シム}	146
車 ^{チヤ}	車 ^{チヤ}	11	方 ^{フヤ}	方 ^{フヤ}	140	司 ^{シヤ}	司 ^{シヤ}	150
金 ^{キム}	金 ^{キム}	18	書 ^{ツウ}	書 ^{ツウ}	141	光 ^{コウ}	光 ^{コウ}	150
春 ^{ツマ}	春 ^{ツマ}	32	當 ^{トウ}	當 ^{トウ}	142	鷹 ^{トウ}	鷹 ^{トウ}	150
五 秋 ^{キウ}	秋 ^{キウ}	32	工 ^{カウ}	工 ^{カウ}	142	糸 ^{シヤ}	糸 ^{シヤ}	169
冬 ^{トウ}	冬 ^{トウ}	32	兄 ^{ケイ}	兄 ^{ケイ}	142	家 ^ケ	家 ^ケ	171
封 ^{フウ}	封 ^{フウ}	46	將 ^{チヤウ}	將 ^{チヤウ}	142	中 ^{チュウ}	中 ^{チュウ}	177

恐 ^{キョウ}	青 ^{セイ}	食 ^{シヤク}	光 ^{クワウ}	子 ^シ	脚 ^{カク}	1 頁
見 ^{ケン}	問 ^{モン}	紙 ^シ	遠 ^{エン}	知 ^チ	貓 ^{マウ}	別表第一號
55	52	37	24	19	4 頁	
尾 ^ビ	名 ^{メイ}	舟 ^{シュウ}	黃 ^{ワウ}	坐 ^サ	紅 ^{ホン}	左右
56	53	47	27	21	12 頁	漳海 州南 音
二 ^ニ	立 ^{リツ}	隻 ^{シツ}	成 ^{テイ}	後 ^{ゴウ}	行 ^{コウ}	
57	53	47	34	22	14 頁	
火 ^カ	茶 ^{チャ}	話 ^ワ	能 ^{ネイ}	熱 ^{ネツ}	高 ^{コウ}	四
99	53	49	37	23	15 頁	

臺、海、音調比較表 (3) 臺……上聲
海……下平

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
手 ^チ / 手 ^ク		1	藕 ^ブ / 藕 ^ク		114	喜 ^ヒ / 喜 ^ク		184
水 ^{スイ} / 水 ^ク		2	母 ^ボ / 母 ^ク		76	免 ^ビ / 免 ^ク		193
柳 ^{リウ} / 柳 ^ク		4	馬 ^マ / 馬 ^ク		135	買 ^{バイ} / 買 ^ク		198
起 ^キ / 起 ^ク		6	體 ^{タイ} / 體 ^ク		137	每 ^{メイ} / 每 ^ク		210
斗 ^ト / 斗 ^ク		19	久 ^{キウ} / 久 ^ク		147	爪 ^{ツウ} / 爪 ^ク		216
勇 ^{イオン} / 勇 ^ク		21	守 ^{シュ} / 守 ^ク		148	米 ^{マイ} / 米 ^ク		234
了 ^{リウ} / 了 ^ク		41	本 ^{ブン} / 本 ^ク		159	髓 ^{スイ} / 髓 ^ク		237
七 齒 ^シ / 齒 ^ク		41	死 ^シ / 死 ^ク		170	母 ^ボ / 母 ^ク		238
几 ^キ / 几 ^ク		53	武 ^ブ / 武 ^ク		178	表 ^{バイ} / 表 ^ク		244
鷓 ^チ / 鷓 ^ク		88	舉 ^キ / 舉 ^ク		179	里 ^リ / 里 ^ク		249

臺、海、音調比較表 (2) 臺……下平
海……上去

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
人 ^{レン} / 人 ^ク		1	人 ^{レン} / 人 ^ク		142	高 ^{コウ} / 高 ^ク		177
來 ^{ライ} / 來 ^ク		12	寒 ^{カン} / 寒 ^ク		143	皇 ^{クワン} / 皇 ^ク		177
唇 ^{レン} / 唇 ^ク		41	梅 ^{メイ} / 梅 ^ク		143	遊 ^{ユウ} / 遊 ^ク		181
船 ^{セン} / 船 ^ク		48	爲 ^{メイ} / 爲 ^ク		145	籠 ^{ロン} / 籠 ^ク		183
猴 ^{クワン} / 猴 ^ク		51	頭 ^{トウ} / 頭 ^ク		145	文 ^{ブン} / 文 ^ク		238
全 ^{セン} / 全 ^ク		159	宜 ^イ / 宜 ^ク		147	城 ^{クワン} / 城 ^ク		241
球 ^{クワン} / 球 ^ク		171	林 ^{レン} / 林 ^ク		151	筒 ^{クワン} / 筒 ^ク		248
行 ^{クワン} / 行 ^ク		173	池 ^チ / 池 ^ク		176	強 ^{クワン} / 強 ^ク		250 六
牙 ^ガ / 牙 ^ク		137	流 ^{リウ} / 流 ^ク		176	奴 ^ヌ / 奴 ^ク		254
求 ^{クワン} / 求 ^ク		141	河 ^カ / 河 ^ク		176	牛 ^{クワン} / 牛 ^ク		256

臺、海、音調比較表 (5) 臺……下去
海……上聲

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
坐 ^モ	坐 ^エ	11	父 ^ベ	父 ^エ	143	蟻 ^ヒ	蟻 ^ア	173
有 ^ウ	有 ^ウ	11	運 ^ウ	運 ^ン	146	患 ^ホ	患 ^ア	178
弟 ^チ	弟 ^リ	12	論 ^ル	論 ^ル	148	位 ^ウ	位 ^ウ	178
象 ^シ	象 ^シ	137	耳 ^ヒ	耳 ^ヒ	159	又 ^ウ	又 ^ウ	239
用 ^イ	用 ^ン	137	部 ^ブ	部 ^ブ	159	付 ^フ	付 ^フ	264
便 ^ビ	便 ^ン	137	利 ^リ	利 ^リ	163	命 ^ビ	命 ^ン	277
厚 ^カ	厚 ^ウ	137	害 ^ハ	害 ^ウ	163	露 ^ロ	露 ^ウ	296
九	地 ^チ	140	近 ^ク	近 ^ク	165	咬 ^カ	咬 ^カ	296
	地 ^リ	140	靜 ^シ	靜 ^ン	171	義 ^ギ	義 ^ニ	297
	問 ^ン	142	後 ^コ	後 ^ウ	172	治 ^チ	治 ^チ	300
	盛 ^シ	143						

臺、海、音調比較表 (4) 臺……上去
海……上平

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
敬 ^キ	敬 ^ン	11	世 ^セ	世 ^イ	142	向 ^ヒ	向 ^ン	172
去 ^キ	去 ^ウ	11	歲 ^セ	歲 ^イ	143	證 ^チ	證 ^ン	173
快 ^ク	快 ^エ	12	氣 ^キ	氣 ^イ	147	志 ^チ	志 ^イ	178
四 ^シ	四 ^イ	13	應 ^{エイ}	應 ^イ	147	獸 ^シ	獸 ^ウ	184
季 ^キ	季 ^イ	32	戒 ^カ	戒 ^ウ	148	嘴 ^ク	嘴 ^イ	236
信 ^シ	信 ^ン	46	教 ^カ	教 ^ウ	148	意 ^イ	意 ^イ	239
鏡 ^キ	鏡 ^キ	134	剃 ^チ	剃 ^キ	162	貴 ^キ	貴 ^イ	244
笑 ^チ	笑 ^ニ	134	照 ^チ	照 ^ウ	163	界 ^カ	界 ^ニ	245 八
器 ^キ	器 ^イ	133	送 ^ソ	送 ^ン	171	怪 ^コ	怪 ^イ	246
叫 ^キ	叫 ^ウ	137	故 ^コ	故 ^ウ	172	進 ^チ	進 ^ウ	251

臺、海、音調比較表 (7) 臺……下入
海……上入

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
日 ^シ	日 ^シ	3	カ ^ラ	カ ^ラ	37	實 ^シ	實 ^ツ	116
六 ^ラ	六 ^ラ	8	別 ^ビ	別 ^フ	45	木 ^キ	木 ^モ	115
十 ^シ	十 ^タ	8	合 ^カ	合 ^フ	49	獵 ^リ	獵 ^フ	117
墨 ^バ	墨 ^マ	9	獨 ^ト	獨 ^フ	59	浴 ^イ	浴 ^フ	124
習 ^シ	習 ^フ	22	業 ^ギ	業 ^フ	65	翼 ^シ	翼 ^フ	152
讀 ^タ	讀 ^フ	23	入 ^リ	入 ^フ	100	族 ^ク	族 ^フ	152
熱 ^ソ	熱 ^フ	23	直 ^チ	直 ^フ	102	敵 ^チ	敵 ^フ	154
極 ^キ	極 ^フ	33	曝 ^ハ	曝 ^フ	103	奪 ^ト	奪 ^フ	156
亦 ^イ	亦 ^フ	35	立 ^リ	立 ^フ	105	縛 ^バ	縛 ^フ	164
集 ^チ	集 ^フ	35	粒 ^リ	粒 ^フ	109	及 ^キ	及 ^フ	170

臺、海、音調比較表 (6) 臺……上入
海……下入

臺	海	頁	臺	海	頁	臺	海	頁
尺 ^チ	尺 ^シ	2	燭 ^チ	燭 ^フ	34	汁 ^チ	汁 ^フ	103
隻 ^チ	隻 ^フ	4	發 ^ホ	發 ^フ	35	脫 ^ト	脫 ^フ	107
匹 ^ビ	匹 ^フ	4	角 ^カ	角 ^フ	37	畜 ^チ	畜 ^フ	116
出 ^ツ	出 ^ス	6	北 ^バ	北 ^フ	40	骨 ^ク	骨 ^フ	117
筆 ^ビ	筆 ^フ	7	色 ^シ	色 ^フ	47	菊 ^キ	菊 ^フ	120
七 ^チ	七 ^フ	8	濶 ^コ	濶 ^フ	49	刻 ^キ	刻 ^フ	127
節 ^セ	節 ^フ	24	忽 ^フ	忽 ^フ	61	窟 ^ク	窟 ^フ	139
屈 ^ク	屈 ^フ	24	渴 ^コ	渴 ^フ	63	法 ^ホ	法 ^フ	153
曲 ^キ	曲 ^フ	24	必 ^ビ	必 ^フ	77	結 ^キ	結 ^フ	165
竹 ^チ	竹 ^フ	30	失 ^シ	失 ^フ	88	足 ^チ	足 ^フ	203

223
484

終

